

西東京市
多文化共生に関する調査
報告書（案）

令和●年●月

西東京市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
（1）性別	7
（2）年齢	7
（3）国籍	8
（4）1番使っている言語	8
（5）居住地	9
（6）在留資格	11
（7）就労の有無	13
（8）日本の居住期間	14
（9）西東京市の居住期間	14
（10）同居者	15
（11）西東京市の生活で良いと思うこと	15
（12）西東京市の定住意向	17
（13）日本での生活評価	18
2. 多文化共生について	20
（1）日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするためにできること	20
（2）日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと	21
（3）参加している活動やイベント	22
（4）活動やイベントに参加しない理由	25
（5）西東京市役所が行っているサービスの認知状況	25
（6）西東京市役所が行っているサービスの利用状況	26
（7）外国人が住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと	28
（8）外国人の子どもが住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと	29
3. 日本語の勉強について	30
（1）日本語の能力	30
（2）日本語の勉強方法	37
（3）日本語を勉強していない理由	39
（4）日本語を勉強したい場所	40

(5) 日本語を勉強する場所でやりたいこと	42
4. 情報の入手方法について	43
(1) 西東京市で生活していく中で必要な情報	43
(2) 西東京市役所のサービスや手続きなどの情報入手方法	44
(3) 「やさしい日本語」の認知状況	46
(4) 西東京市役所のサービスやお知らせで伝えてほしい言語	49
(5) 困っているときの相談先	50
(6) 地震などの災害が起きたときに心配なこと	53
(7) 地震などの災害が起きたときの情報入手先	55
(8) 新型コロナウイルスの流行時に困ったこと	57
5. 地域の交流について	59
(1) 日本人との交流状況	59
(2) 日本人と交流する際に難しいこと	62
(3) いつも交流している相手	62
(4) 外国人だからという理由で嫌な思いをした経験	63
(5) 外国人だからという理由で嫌な思いをした内容	65
6. その他について	66
(1) 西東京市や暮らしについての意見	66

第3章 調査結果のまとめ 69

1. コミュニケーション・日本語習得状況について	71
(1) 情報の多言語化、相談状況	71
(2) 日本語習得状況	72
2. 生活状況について	72
(1) 災害時の支援について	72
(2) 子ども・子育ておよび福祉サービスについて	72
3. 感染症流行時について	73
(1) 感染症流行時の状況について	73
4. 多文化共生への意識と外国人の社会参画について	73
(1) 多文化共生の意識について	73
(2) 外国人市民の地域参加について	73

第4章 調査票 75

第5章 多文化共生推進指針に関する ヒアリング調査報告書 89

1. 調査の概要	91
2. ヒアリング結果一覧	92

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本業務は、西東京市多文化共生推進指針の策定に必要な基礎資料として、西東京市の外国人住民の実態・ニーズ等を把握するため、アンケート調査等を実施する。

2. 調査方法と回収状況

調査地域：西東京市全域

調査対象者：市内在住の満18歳以上の外国人 1,000人

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査方法：郵送又はWEBフォームによるアンケート調査

調査期間：令和7年6月4日（水）～7月10日（木）

<回収状況>

配布数：1,000票

有効回収数：310票（紙：201票、Web：109票）

有効回収率：31.0%

3. 調査項目

1. あなた（回答者）について
2. 多文化共生について
3. 日本語の勉強について
4. 情報の入手方法について
5. 地域の交流について
6. その他について

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

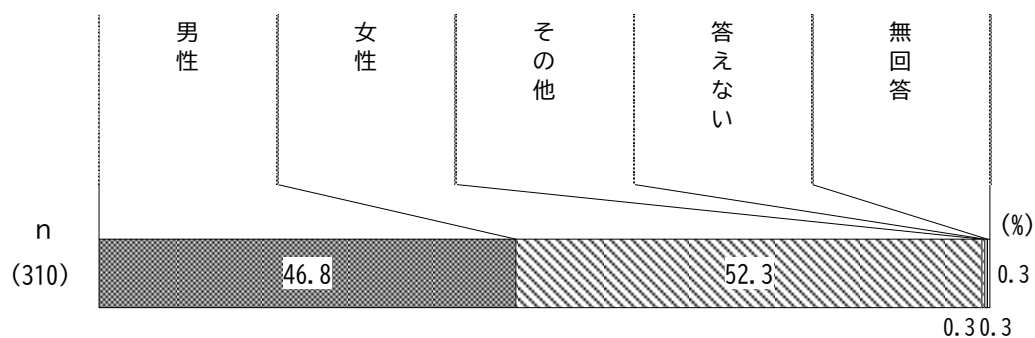
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 性別

問1 性別は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

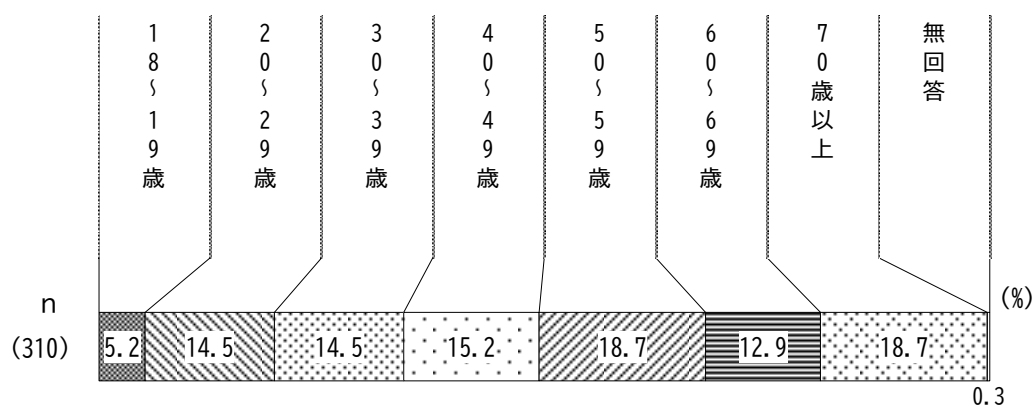
外国人回答者の性別は、「男性」が46.8%、「女性」が52.3%となっています。



(2) 年齢

問2 何歳ですか。(1つだけ○をつけてください)

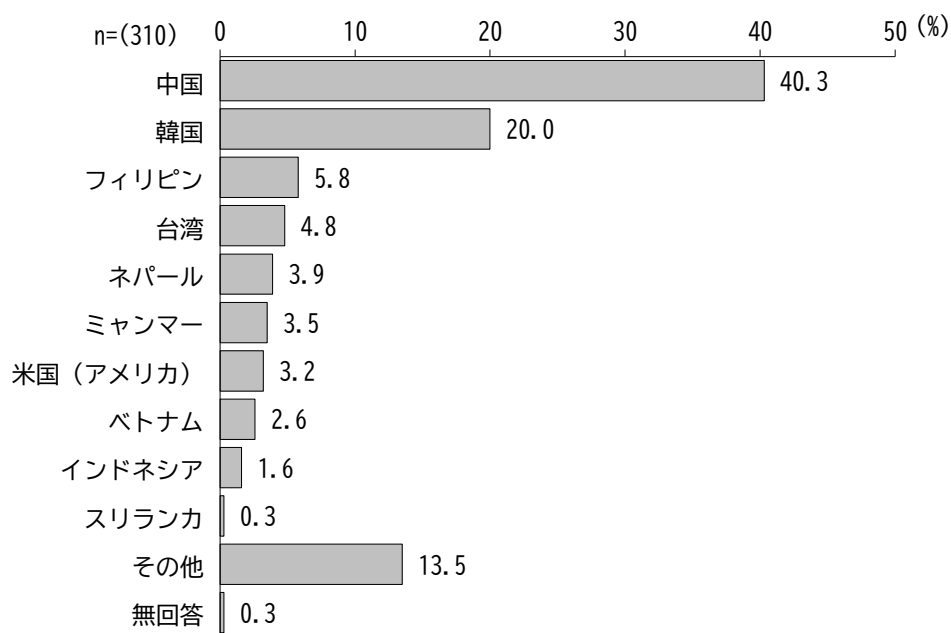
年齢では、「50～59歳」と「70歳以上」がともに18.7%と最も多く、次いで「40～49歳」が15.2%となっています。



(3) 国籍

問3 国籍は何ですか。在留カードと同じ国を書いてください。
(1つだけ○をつけてください)

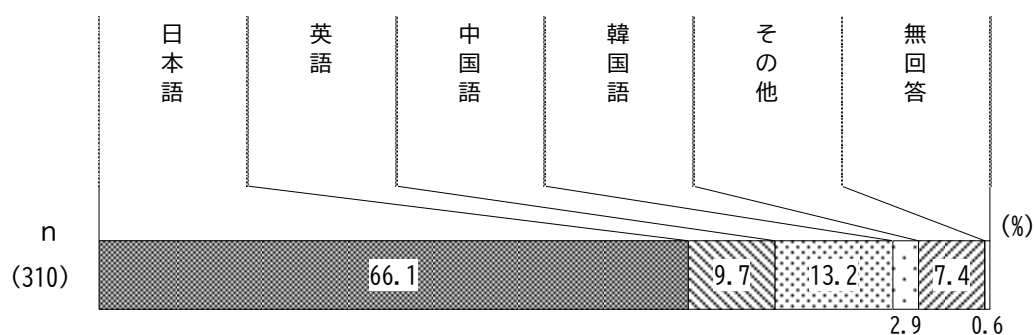
国籍では、「中国」が40.3%と最も多く、次いで「韓国」が20.0%となっています。



(4) 1番使っている言語

問4 1日の中で1番使っている言語は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

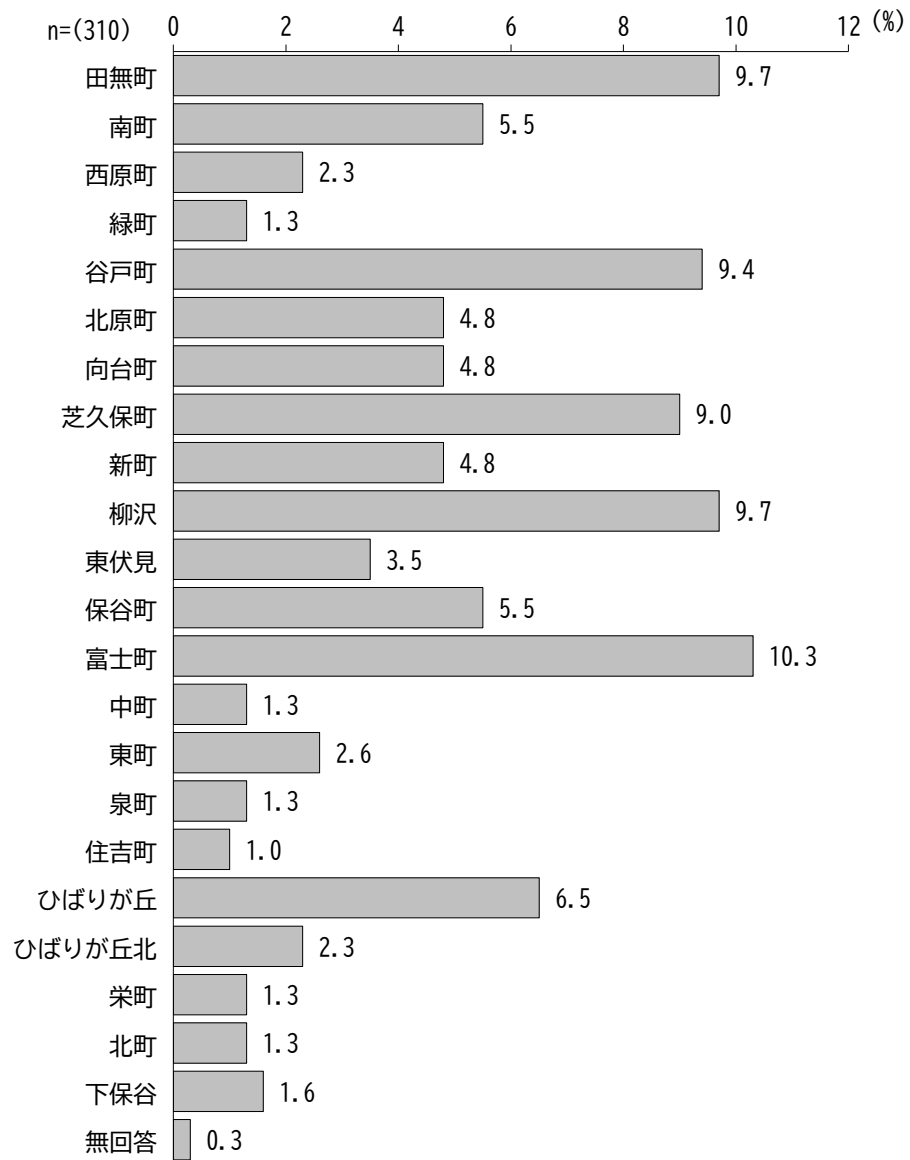
1日の中で1番使っている言語は、「日本語」が66.1%と最も多く、次いで「中国語」が13.2%、「英語」が9.7%となっています。



(5) 居住地

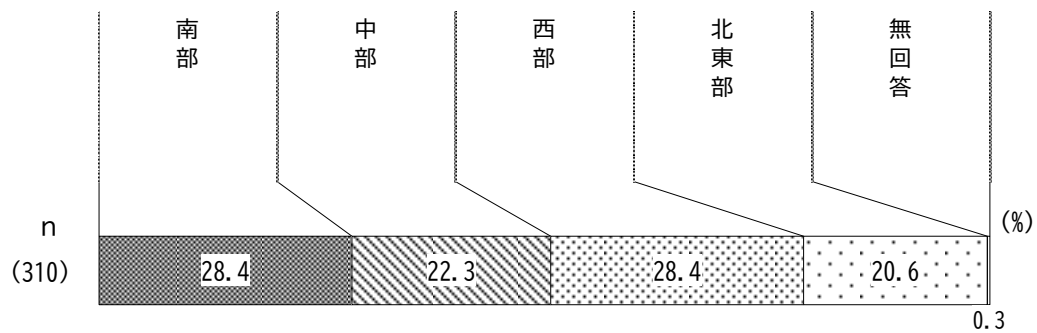
問5 どこに住んでいますか。(1つだけ○をつけてください)

居住地では、「富士町」が10.3%と最も多く、次いで「田無町」と「柳沢」がともに9.7%、「谷戸町」が9.4%、「芝久保町」が9.0%と続いています。



第2章 調査結果の詳細

居住地でみると、「南部」と「西部」がともに28.4%と最も多くなっています。



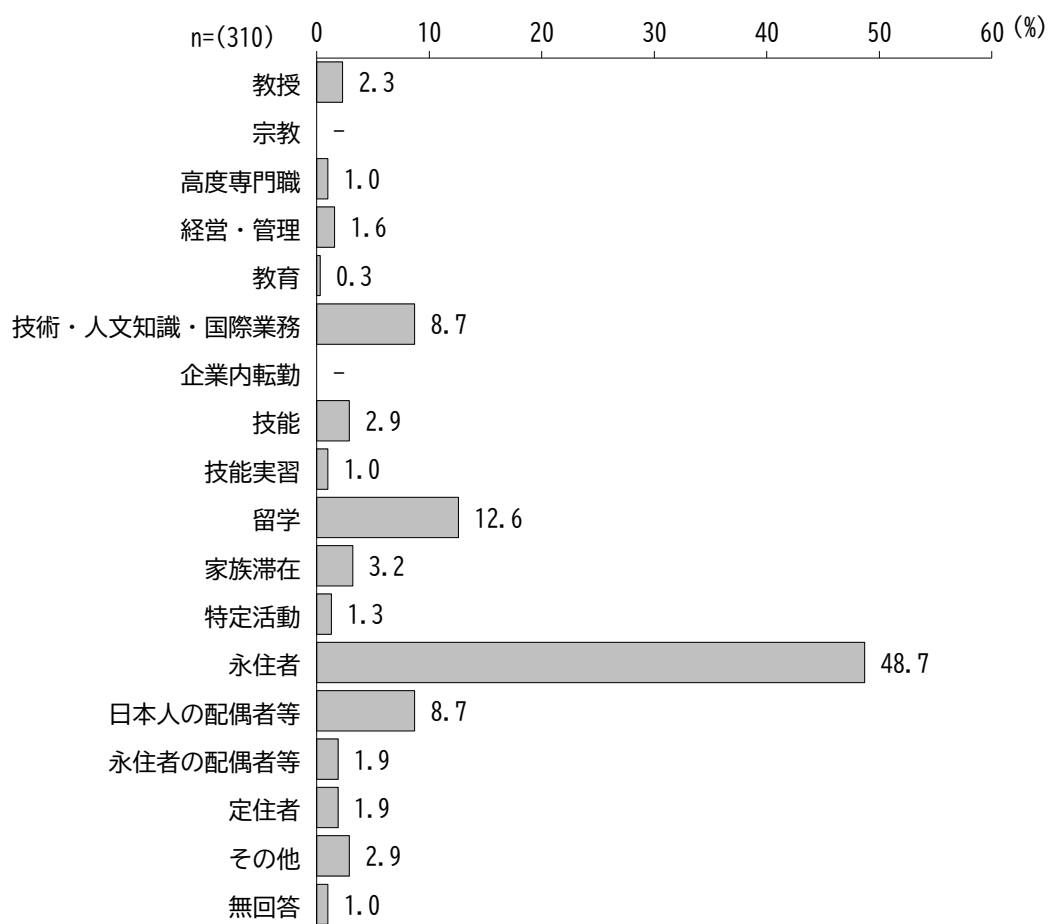
※居住地の分類

	居住地
南部	南町、向台町、新町、柳沢、東伏見、
中部	田無町、北原町、保谷町、泉町、住吉町
西部	西原町、緑町、谷戸町、芝久保町、ひばりが丘
北東部	富士町、中町、東町、ひばりが丘北、栄町、北町、下保谷

(6) 在留資格

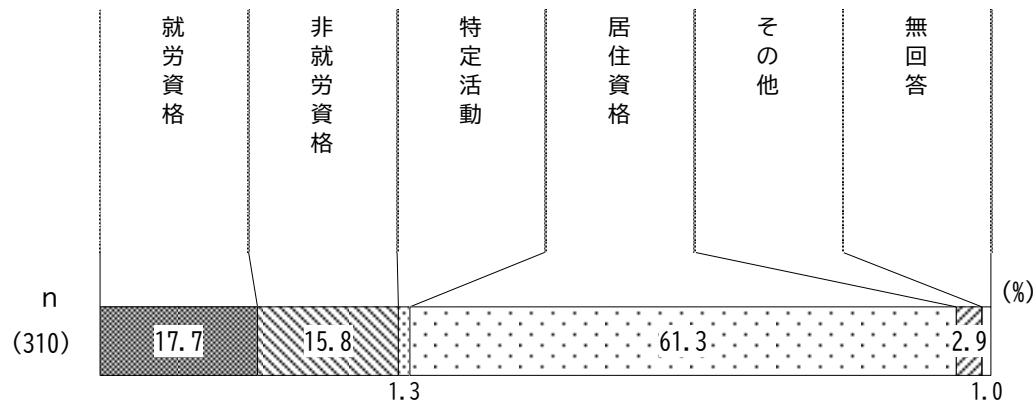
問6 在留資格は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

在留資格では、「永住者」が48.7%と最も多く、次いで「留学」が12.6%、「技術・人文知識・国際業務」と「日本人の配偶者等」がともに8.7%となっています。



【在留資格4分類】

在留資格4分類でみると、「居住資格」が61.3%と最も多くなっています。



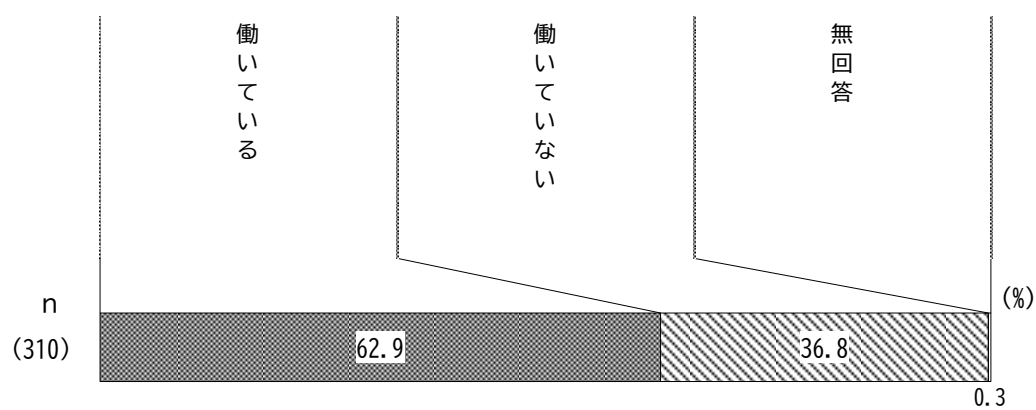
※在留資格4分類

	在留資格
就労資格	教授、宗教、高度専門職、経営・管理、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、技能、技能実習
非就労資格	留学、家族滞在
特定活動	特定活動
居住資格	永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者
その他	その他

(7) 就労の有無

問7 働いていますか。(1つだけ○をつけてください)

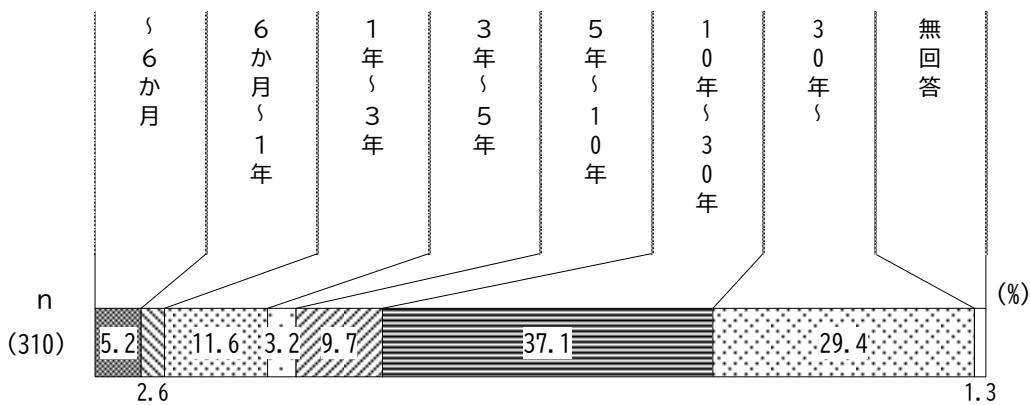
就労状況については、「働いている」が62.9%、「働いていない」が36.8%となっています。



(8) 日本の居住期間

問8 日本にどのくらい住んでいますか。今まで日本に住んでいた期間を全部合わせてください。
(1つだけ○をつけてください)

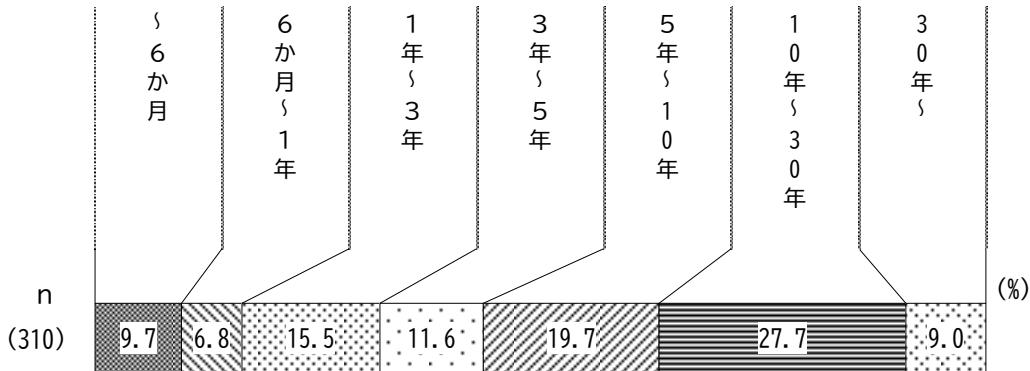
日本での居住期間は、「10年～30年」が37.1%と最も多く、次いで「30年以上」が29.4%となっており、10年以上居住している人の割合が6割を超えています。



(9) 西東京市の居住期間

問9 西東京市にどのくらい住んでいますか。今まで西東京市に住んでいた期間を全部合わせてください。(1つだけ○をつけてください)

西東京市での居住期間は、「10年～30年」が27.7%と最も多く、次いで「5年～10年」が19.7%、「1年～3年」が15.5%となっています。

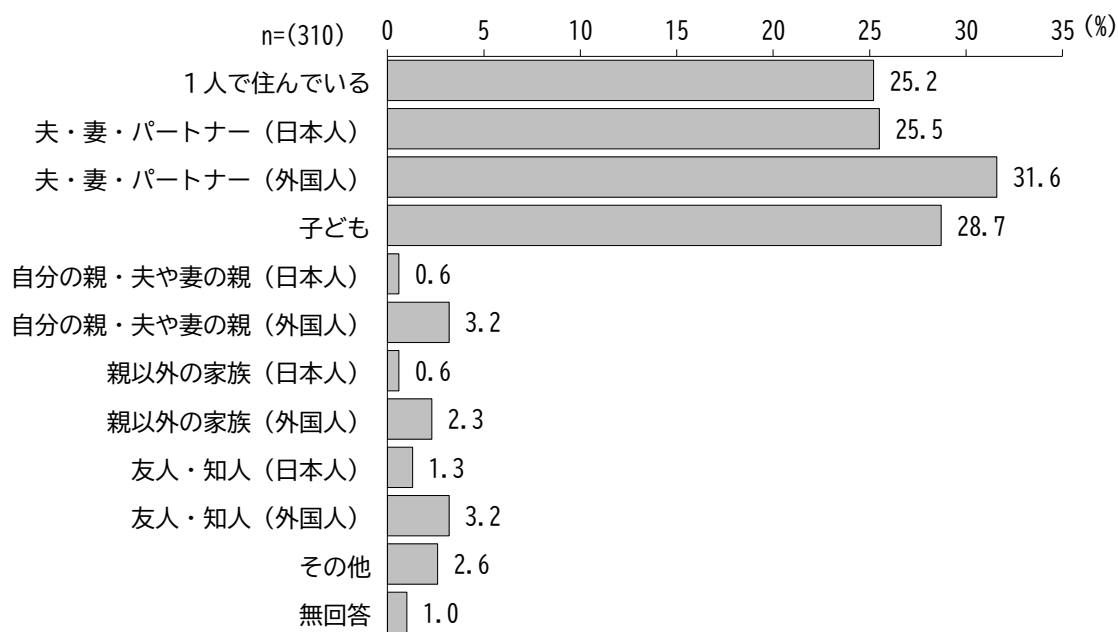


(10) 同居者

問10 今、誰と一緒に住んでいますか。(住んでいる人みんなに○をつけてください)

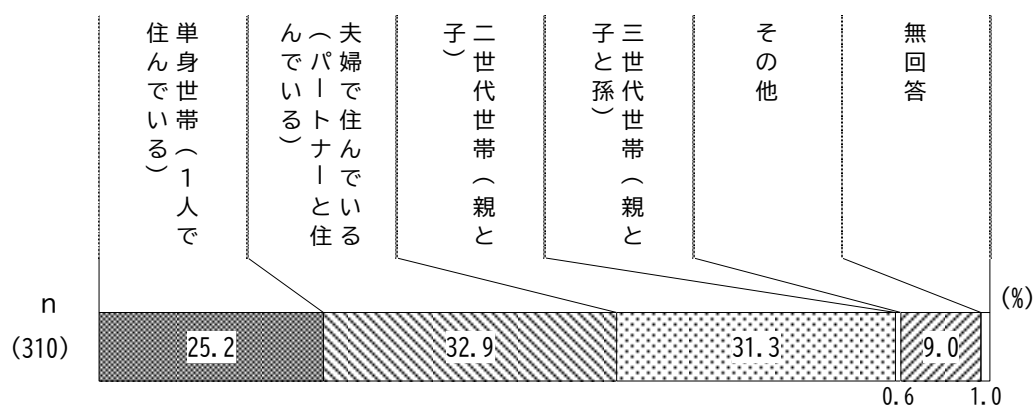
一緒に住んでいる同居者は、「夫・妻・パートナー（外国人）」が31.6%と最も多く、次いで「子ども」が28.7%、「夫・妻・パートナー（日本人）」が25.5%となっています。

一方で、「1人で住んでいる」と回答した人は25.2%となっています。



【家族分類】

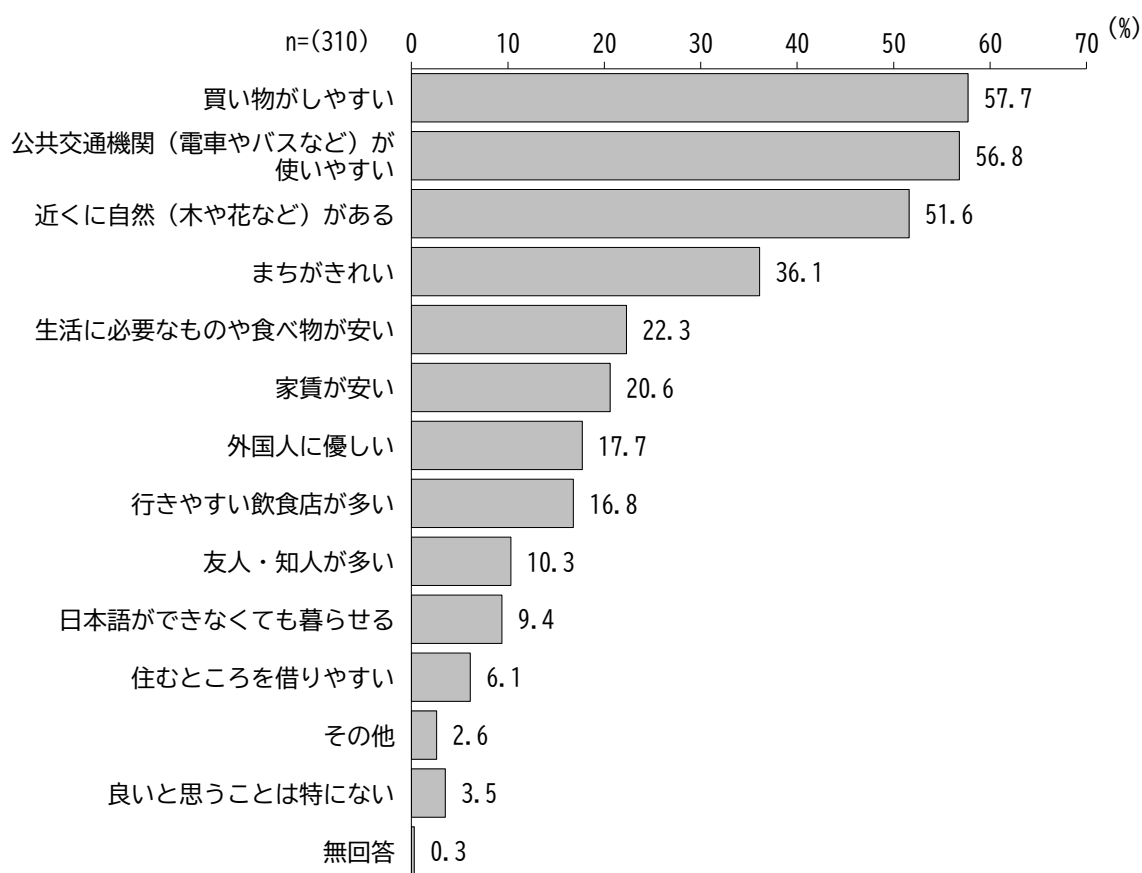
家族分類でみると、「夫婦で住んでいる（パートナーと住んでいる）」が32.9%と最も多く、次いで「二世帯世帯（親と子）」が31.3%、「単身世帯（1人で住んでいる）」が25.2%となっています。



(11) 西東京市の生活で良いと思うこと

問11 西東京市の生活について、良いと思うことは何ですか。
(良いと思うもの全部に○をつけてください)

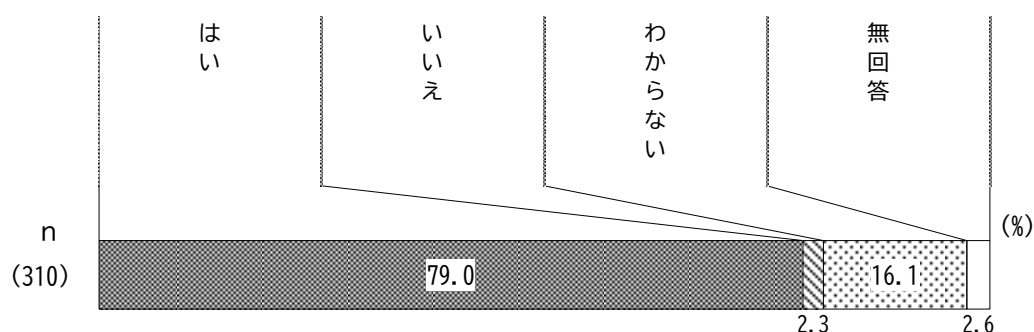
西東京市の生活で良いと思うことは、「買い物がしやすい」が57.7%と最も多く、次いで「公共交通機関（電車やバスなど）が使いやすい」が56.8%、「近くに自然（木や花など）がある」が51.6%、「まちがきれい」が36.1%と続いています。



(12) 西東京市の定住意向

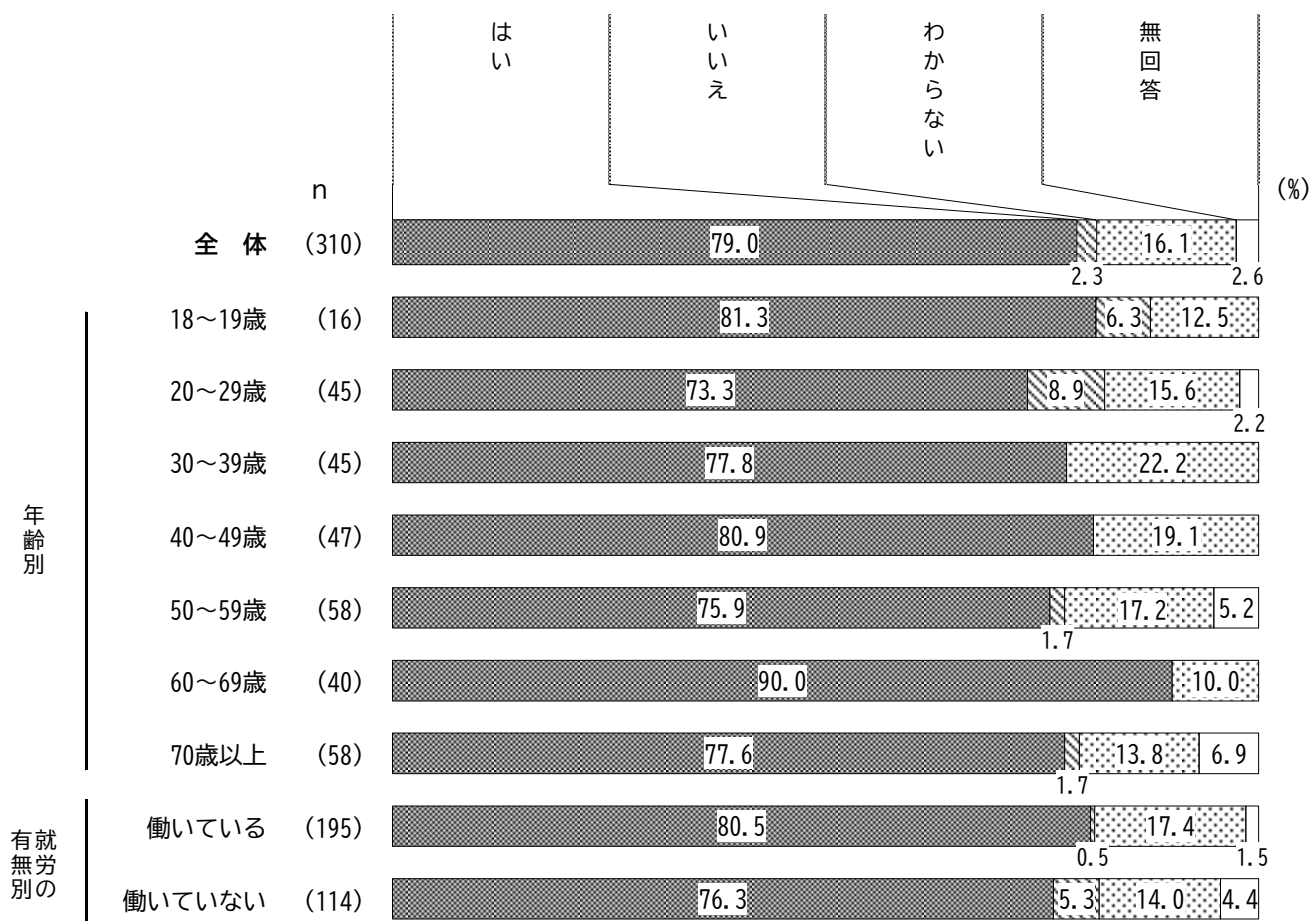
問12 これからも西東京市に住みたいですか。(1つだけ○をつけてください)

これからも西東京市に住みたいに「はい」と回答した人は79.0%となっています。



年齢別にみると、西東京市に住みたいに「はい」と回答した人はいずれの年齢でも7割を超えており、特に《60～69歳》で90.0%と最も多く、次いで《40～49歳》で80.9%となっています。

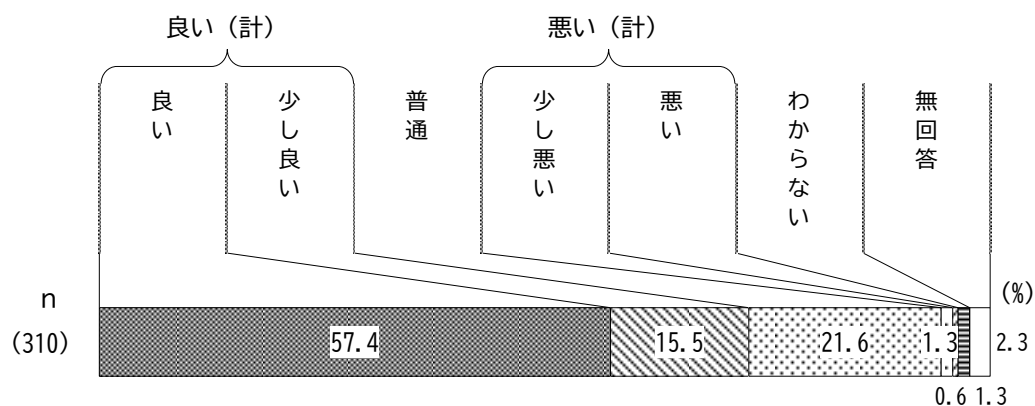
就労の有無別にみると、《働いていない》人よりも《働いている》人の方が住みたいとする割合が高くなっています。



(13) 日本での生活評価

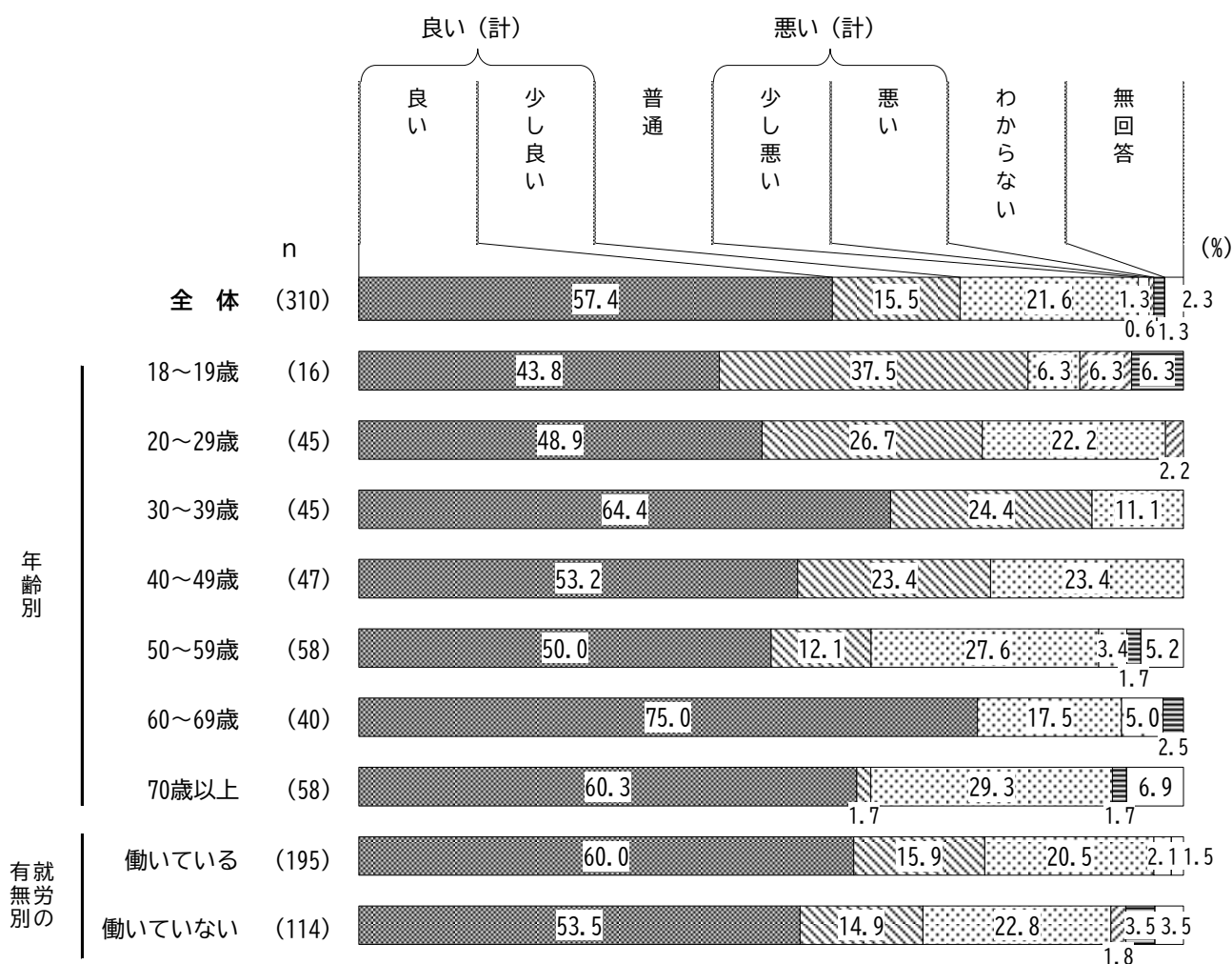
問13 日本での生活が良いと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

日本での生活について、「良い」と思うが57.4%、「少し良い」が15.5%となっており、“良い(計)”でみると7割の人から評価されています。



年齢別に“良い（計）”をみると、《30～39歳》で88.8%と最も評価が高く、次いで《40～49歳》で76.6%と続いています。一方、《50～59歳》と《70歳以上》では6割程度に留まっています。

就労の有無別にみると、《働いている》人の“良い（計）”は75.9%で、《働いていない》人よりも7.5ポイント高くなっています。

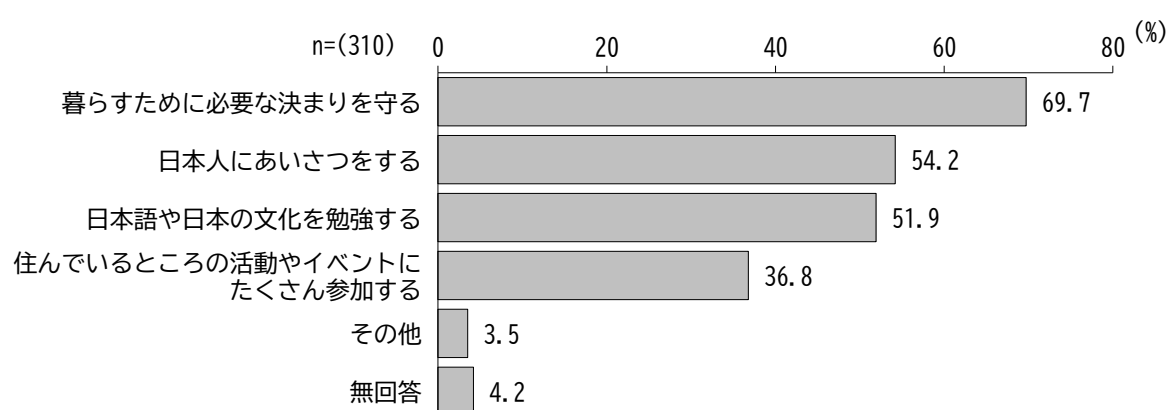


2. 多文化共生について

(1) 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするためにできること

問14 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、あなたができることは何ですか。
(できると思うこと全部に○をつけてください)

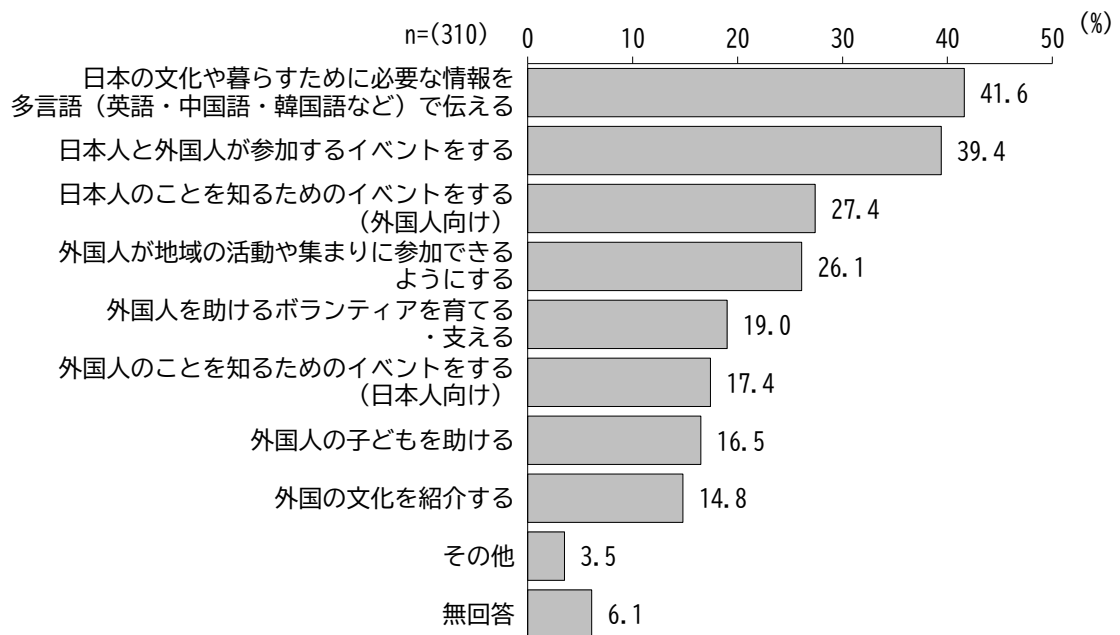
日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、自身ができることは、「暮らすために必要な決まりを守る」が69.7%と最も多く、次いで「日本人にあいさつをする」が54.2%、「日本語や日本の文化を勉強する」が51.9%となっています。



(2) 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと

問15 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。(3つまで○をつけてください)

日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、西東京市役所にしてほしいことは、「日本の文化や暮らすために必要な情報を多言語（英語・中国語・韓国語など）で伝える」が41.6%と最も多く、次いで「日本人と外国人が参加するイベントをする」が39.4%、「日本人のことを知るためのイベントをする（外国人向け）」が27.4%、「外国人が地域の活動や集まりに参加できるようにする」が26.1%と続いています。



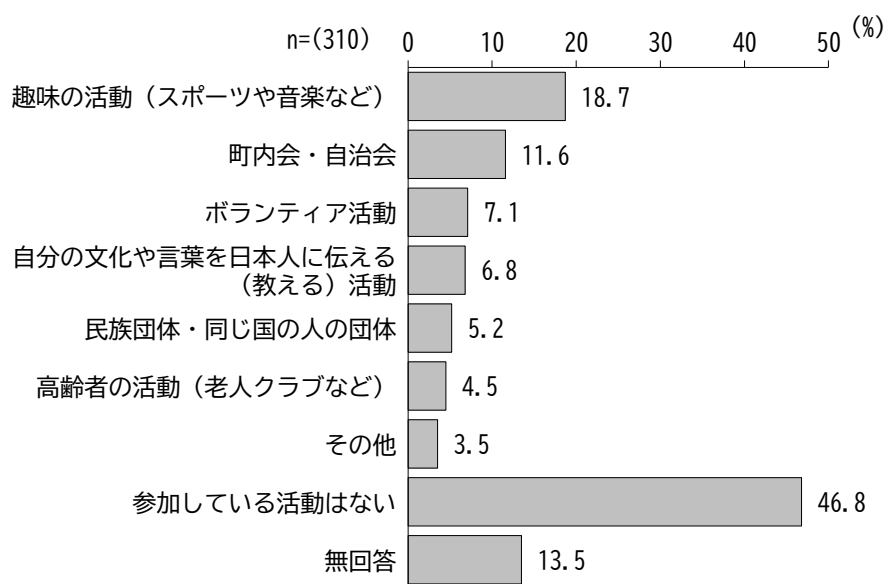
(3) 参加している活動やイベント

問16 あなたが参加している活動やイベントはどれですか。
(参加している活動やイベント全部に○をつけてください)

【活動（続けて参加するもの）】

自身が参加している活動（続けて参加するもの）は、「趣味の活動（スポーツや音楽など）」が18.7%と最も多くなっています。

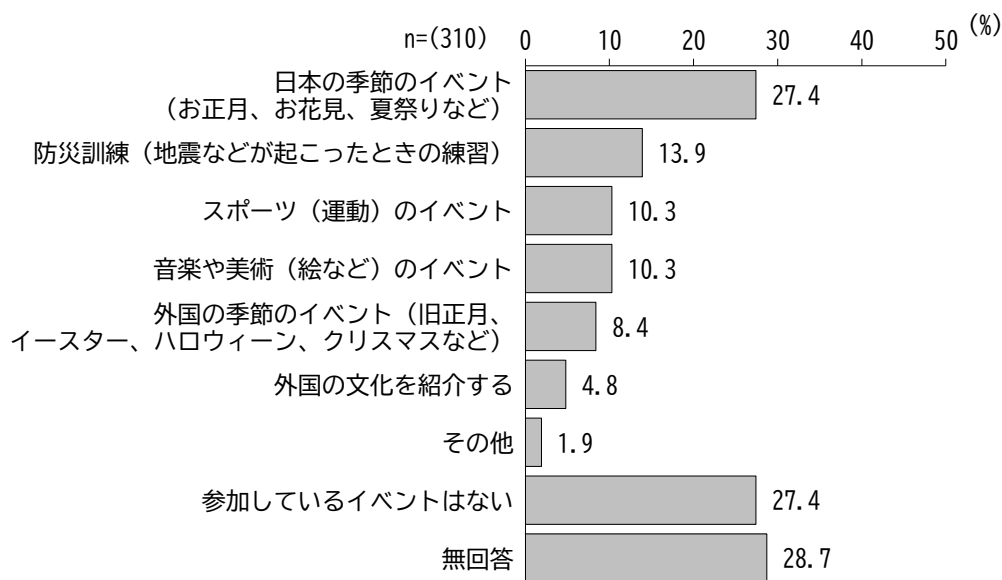
一方、「参加している活動はない」と回答した人は46.8%となっています。



【イベント（決まった日だけ参加するもの）】

自身が参加しているイベント（決まった日だけ参加するもの）は、「日本の季節のイベント（お正月、お花見、夏祭りなど）」が27.4%と最も多くなっています。

一方、「参加しているイベントはない」と回答した人も27.4%となっています。



【活動（続けて参加するもの）】

年齢別にみると、多くの年齢で「趣味の活動（スポーツや音楽など）」への参加が多くなっています。

「参加している活動はない」は《20～29歳》で71.1%と多く、《30～39歳》以上は年齢が上がるにつれて割合がおおむね減少し、「町内会・自治会」への参加が増加する傾向となっています。

また、上記の他に、《40～49歳》と《50～59歳》は「ボランティア活動」、《60～69歳》は「自分の文化や言葉を日本人に伝える（教える）活動」、《70歳以上》は「高齢者の活動（老人クラブなど）」「民族団体・同じ国の人の団体」への参加が1割を超えています。

単位：（%）

		回答者数（n）	趣味の活動（スポーツや音楽など）	町内会・自治会	ボランティア活動	自分の文化や言葉を日本人に伝える（教える）活動	民族団体・同じ国の人の団体	高齢者の活動（老人クラブなど）	その他	参加している活動はない	無回答
全 体		310	18.7	11.6	7.1	6.8	5.2	4.5	3.5	46.8	13.5
年 齢 別	18～19歳	16	12.5	-	12.5	-	-	6.3	-	62.5	12.5
	20～29歳	45	17.8	2.2	-	2.2	2.2	-	-	71.1	8.9
	30～39歳	45	20.0	11.1	6.7	8.9	-	2.2	6.7	51.1	8.9
	40～49歳	47	14.9	8.5	10.6	4.3	4.3	2.1	2.1	57.4	10.6
	50～59歳	58	20.7	12.1	10.3	8.6	6.9	1.7	1.7	37.9	19.0
	60～69歳	40	17.5	22.5	7.5	15.0	5.0	-	5.0	40.0	10.0
	70歳以上	58	22.4	15.5	5.2	5.2	12.1	17.2	6.9	25.9	20.7

【イベント（決まった日だけ参加するもの）】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「日本の季節のイベント（お正月、お花見、夏祭りなど）」の参加が多く、特に「40～49歳」で31.9%と多くなっています。

「参加しているイベントはない」は「20～29歳」で44.4%と多く、「30～39歳」以上は年齢が上がるにつれて減少する傾向となっています。

また、「20～29歳」と「30～39歳」は「スポーツ（運動）のイベント」、「30～39歳」以上は「防災訓練（地震などが起こったときの練習）」、「50～59歳」以上は「音楽や美術（絵など）のイベント」への参加が多くなっています。

単位：（%）

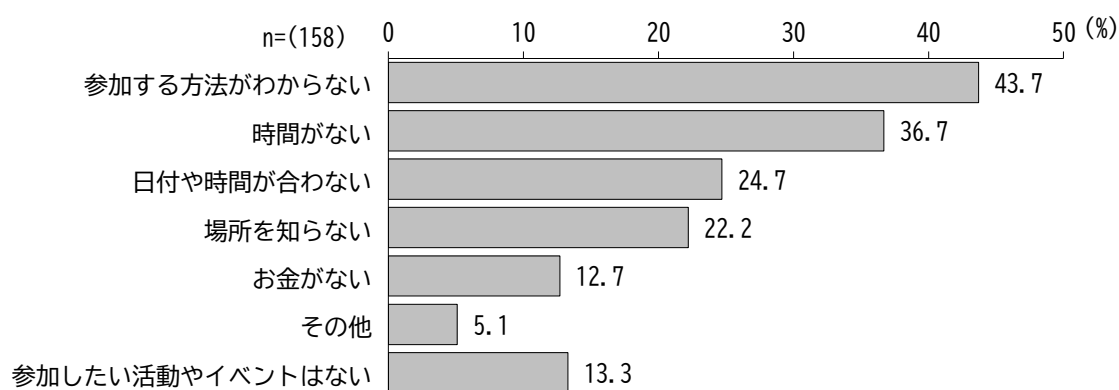
		回答者数（n）	日本の季節のイベント（お正月、お花見、夏祭りなど）	防災訓練（地震などが起こったときの練習）	スポーツ（運動）のイベント	音楽や美術（絵など）のイベント	外国の季節のイベント（旧正月、イースター、ハロウィン、クリスマスなど）	外国の文化を紹介する	その他	参加しているイベントはない	無回答
全 体		310	27.4	13.9	10.3	10.3	8.4	4.8	1.9	27.4	28.7
年 齢 別	18～19歳	16	43.8	12.5	18.8	12.5	12.5	6.3	-	25.0	18.8
	20～29歳	45	24.4	8.9	17.8	6.7	11.1	-	-	44.4	20.0
	30～39歳	45	24.4	13.3	17.8	8.9	6.7	4.4	4.4	28.9	24.4
	40～49歳	47	31.9	17.0	8.5	8.5	8.5	6.4	-	36.2	19.1
	50～59歳	58	22.4	13.8	6.9	12.1	6.9	10.3	3.4	24.1	31.0
	60～69歳	40	27.5	20.0	7.5	10.0	5.0	5.0	-	20.0	37.5
	70歳以上	58	29.3	12.1	3.4	13.8	10.3	1.7	3.4	15.5	39.7

(4) 活動やイベントに参加しない理由

問17 【問16で「【活動】参加している活動はない」「【イベント】参加しているイベントはない」と回答した方にお聞きします。】

問16の活動やイベントについて、なぜ参加しないのですか。
(参加しない理由全部に○をつけてください)

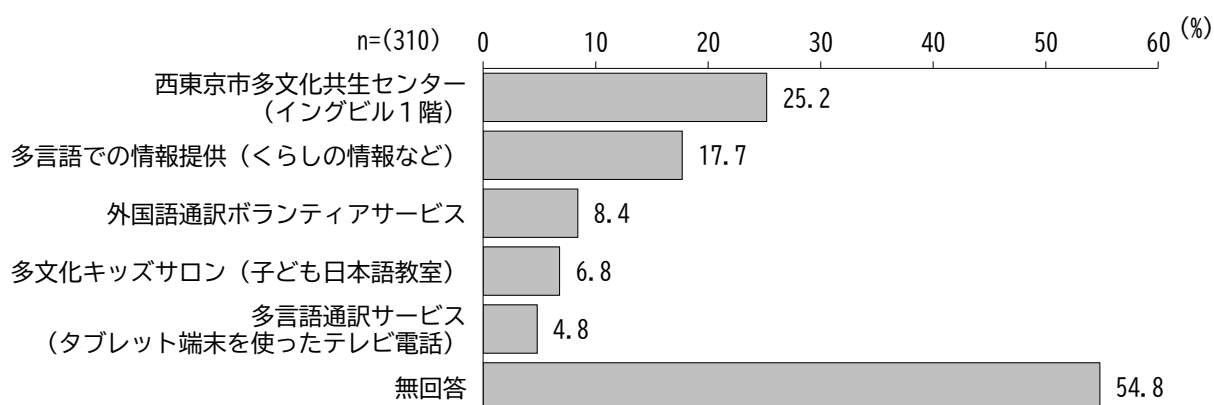
自身が活動やイベントに参加していない理由としては、「参加する方法がわからない」が43.7%と最も多く、次いで「時間がない」が36.7%となっています。



(5) 西東京市役所が行っているサービスの認知状況

問18 西東京市役所がしているサービスを知っていますか。
(知っているサービス全部に○をしてください)

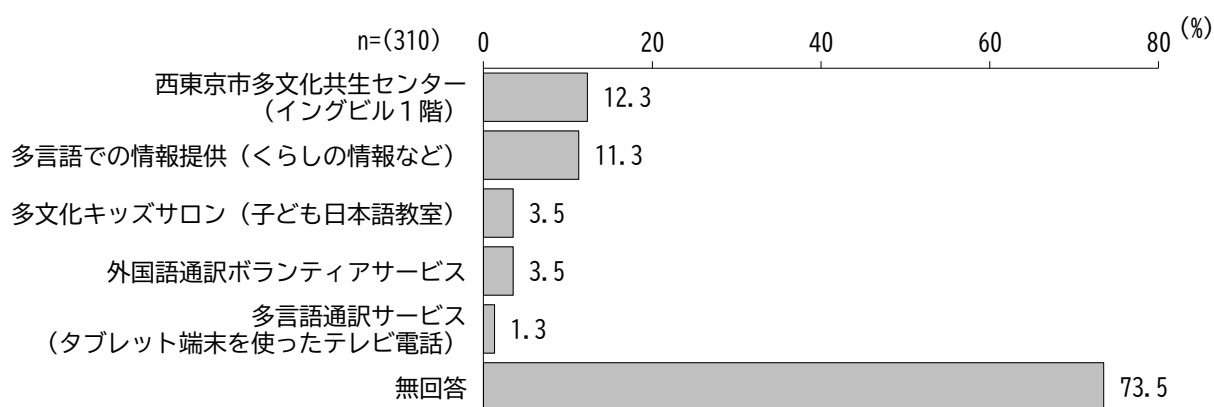
西東京市役所が行っているサービスの認知度では、「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」が25.2%と最も高く、次いで「多言語での情報提供（くらしの情報など）」が17.7%となっています。



(6) 西東京市役所が行っているサービスの利用状況

問19 西東京市役所が行っているサービスを使ったことがありますか。
(使ったことがあるサービス全部に○をしてください)

西東京市役所が行っているサービスの利用では、「西東京市多文化共生センター（イングリッシュ1階）」が12.3%と最も多く、次いで「多言語での情報提供（くらしの情報など）」が11.3%となっています。



居住地別にみると、《南部》と《西部》では「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」、《中部》と《北東部》では「多言語での情報提供（くらしの情報など）」の利用が最も多くなっています。

在留資格別にみると、《就労資格》では「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」と「多言語での情報提供（くらしの情報など）」、《非就労資格》では「多言語での情報提供（くらしの情報など）」、《居住資格》では「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」が最も多くなっています。

就労の有無別にみると、《働いている》人と《働いていない》人で大きな差はなく、ともに「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」の利用が最も多くなっています。

家族構成別にみると、《単身世帯（一人で住んでいる）》と《夫婦で住んでいる（パートナーと住んでいる）》では「多言語での情報提供（くらしの情報など）」、《二世代世帯（親と子）》では「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」の利用が最も多くなっています。

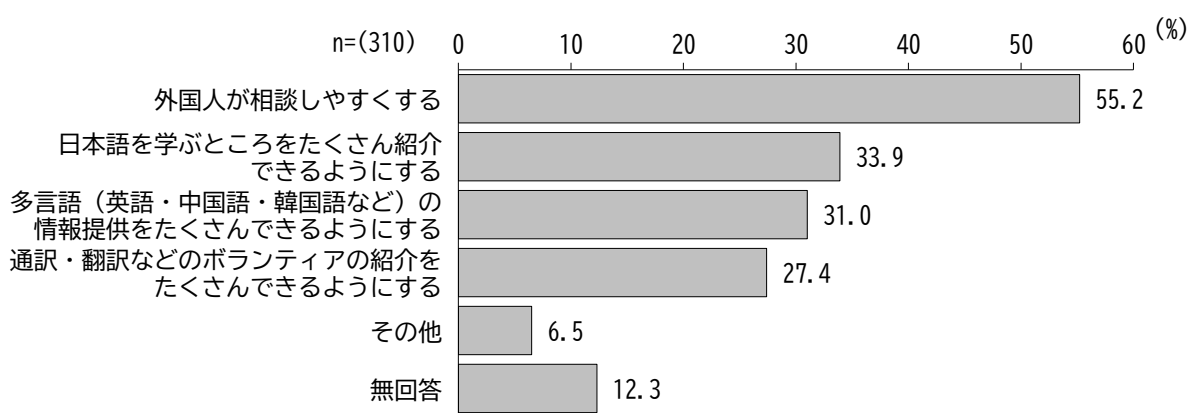
単位：（％）

		回答者数（n）	西東京市多文化共生センター（イングビル1階）	多言語での情報提供（くらしの情報など）	多文化キッズサロン（子ども日本語教室）	外国語通訳ボランティアサービ	多言語通訳サービス（タブレット端末を使ったテレビ電話）	無回答
全 体		310	12.3	11.3	3.5	3.5	1.3	73.5
居住地別	南部	88	18.2	12.5	4.5	3.4	2.3	65.9
	中部	69	14.5	15.9	5.8	5.8	2.9	65.2
	西部	88	10.2	5.7	3.4	2.3	-	81.8
	北東部	64	4.7	12.5	-	3.1	-	81.3
在留資格別	就労資格	55	18.2	18.2	3.6	1.8	3.6	65.5
	非就労資格	49	16.3	24.5	6.1	4.1	2.0	55.1
	特定活動	4	-	25.0	-	-	-	75.0
	居住資格	190	10.5	6.3	3.2	4.2	0.5	78.9
	その他	9	-	-	-	-	-	100.0
有就労別の	働いている	195	11.3	10.3	4.6	4.1	2.1	73.3
	働いていない	114	14.0	13.2	1.8	2.6	-	73.7
家族構成別	単身世帯（一人で住んでいる）	78	11.5	15.4	1.3	2.6	1.3	71.8
	夫婦で住んでいる（パートナーと住んでいる）	102	7.8	8.8	2.9	2.9	-	80.4
	二世代世帯（親と子）	97	15.5	9.3	6.2	3.1	2.1	71.1
	三世代世帯（親と子と孫）	2	-	-	-	-	-	100.0
	その他	28	17.9	17.9	3.6	10.7	3.6	60.7

(7) 外国人が住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと

問20 外国人が住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。
(3つまで○をつけてください)

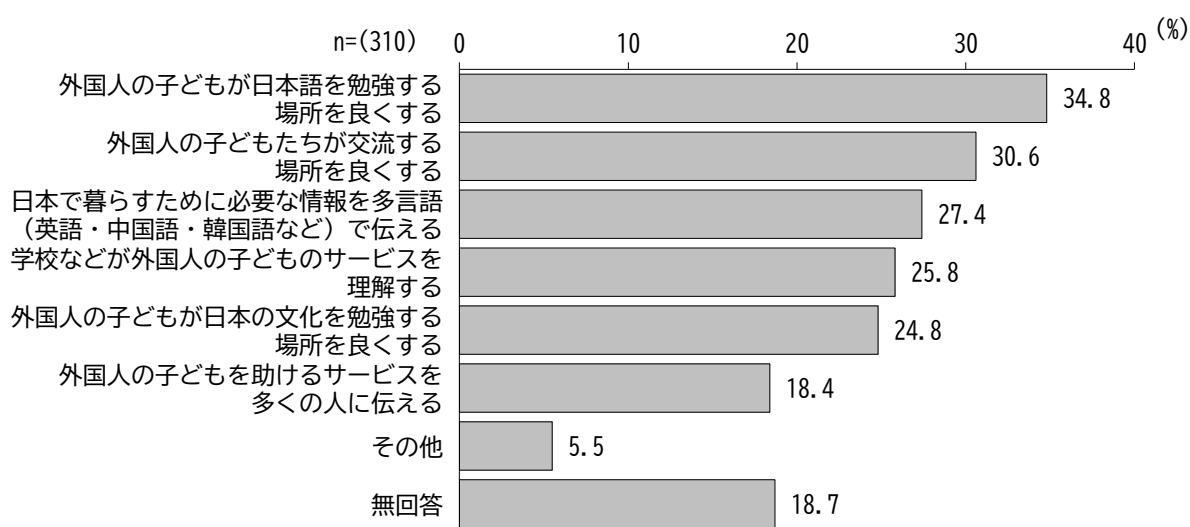
外国人が住みやすいまちにするために、西東京市役所にしてほしいことは、「外国人が相談しやすくする」が55.2%と最も多く、次いで「日本語を学ぶところをたくさん紹介できるようにする」が33.9%、「多言語（英語・中国語・韓国語など）の情報提供をたくさんできるようにする」が31.0%、「通訳・翻訳などのボランティアの紹介をたくさんできるようにする」が27.4%となっています。



(8) 外国人の子どもが住みやすいまちにするために西東京市役所にしてほしいこと

問21 外国人の子どもが住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。
(3つまで○をつけてください)

外国人の子どもが住みやすいまちにするために、西東京市役所にしてほしいことは、「外国人の子どもが日本語を勉強する場所を良くする」が34.8%と最も多く、次いで「外国人の子どもたちが交流する場所を良くする」が30.6%、「日本で暮らすために必要な情報を多言語（英語・中国語・韓国語など）で伝える」が27.4%、「学校などが外国人の子どものサービスを理解する」が25.8%、「外国人の子どもが日本の文化を勉強する場所を良くする」が24.8%と続いています。



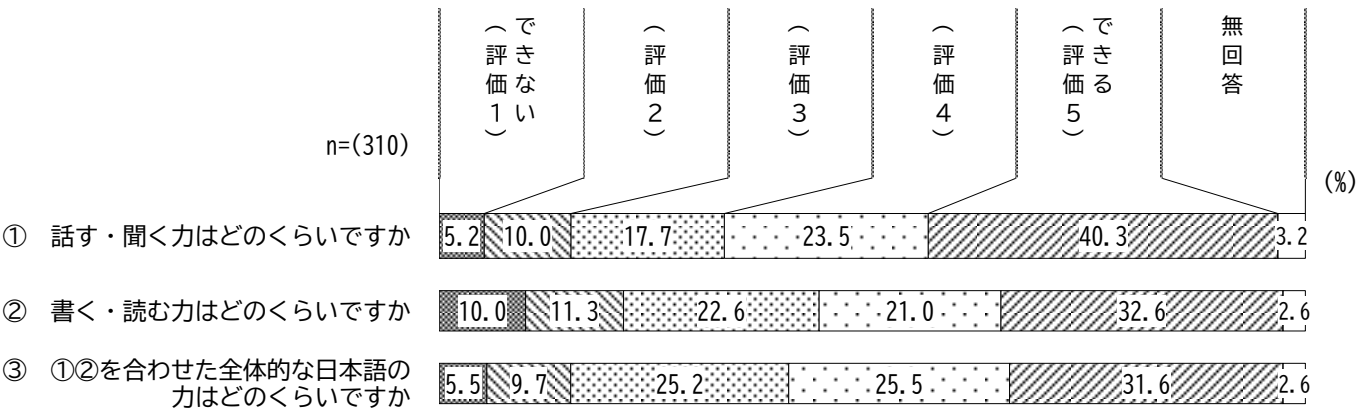
3. 日本語の勉強について

(1) 日本語の能力

問22 あなたは、日本語がどのくらいできますか。あなたが思ったとおりにそれぞれ答えてください。(評価1～5の各段階の中で1つに○をつけてください)

日本語がどのくらいできるかについて、【① 話す・聞く力】が「できる(評価5)」と回答した割合が40.3%、【② 書く・読む力】が「できる(評価5)」が32.6%となっています。

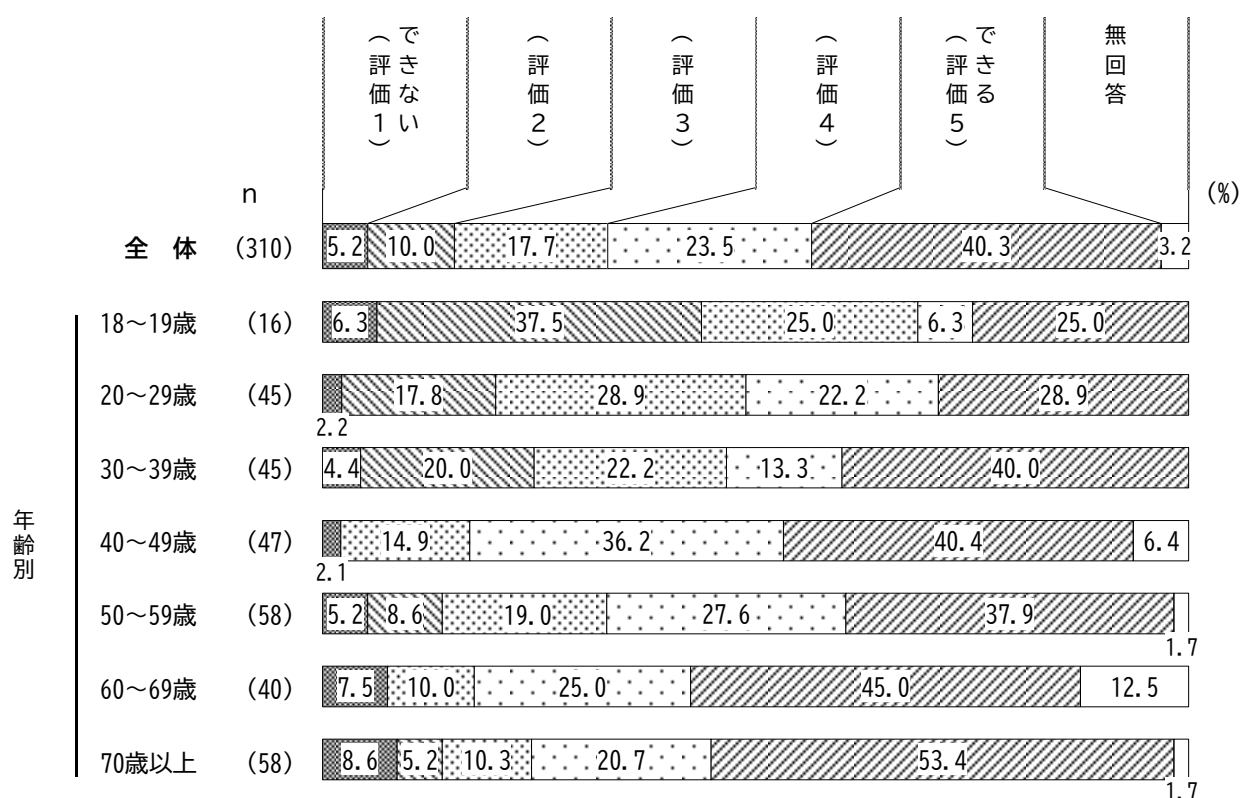
【③ ①②を合わせた全体的な日本語の力】が「できる(評価5)」と回答した割合が31.6%であり、外国人にとって日本語は話す・聞くより、書く・読む方が難しいことがうかがえます。



【① 話す・聞く力】

年齢別にみると、「できる（評価5）」と回答した割合は、《70歳以上》で53.4%と最も多く、年齢が下がるにつれておおむね減少する傾向となり、《20～29歳》で28.9%と最も少なくなっています。

また、“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《40～49歳》と《60～69歳》《70歳以上》は7割台となっているものの、《50～59歳》は6割台、《20～29歳》と《30～39歳》は5割台に留まっています。

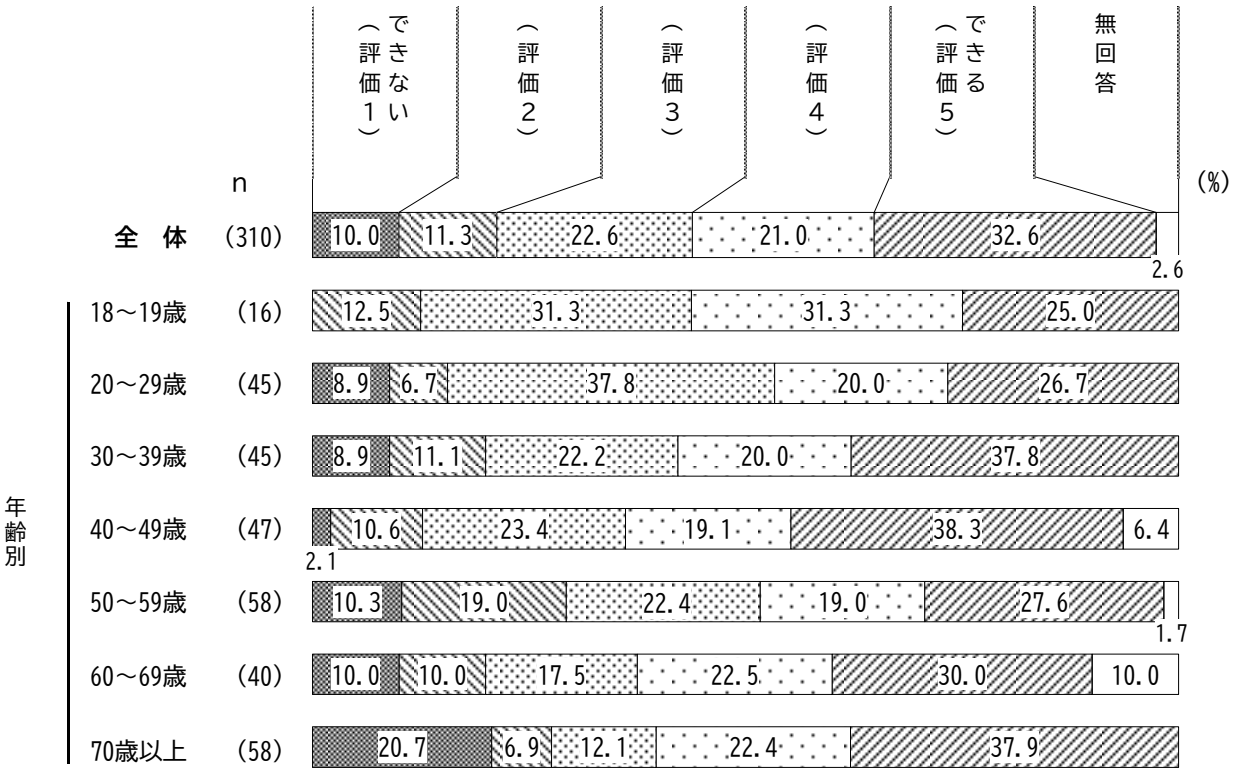


【② 書く・読む力】

年齢別にみると、「できる（評価5）」と回答した割合は、いずれの年齢でも2～3割台となっています。

また、“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、≪70歳以上≫が60.3%と最も多く、次いで≪30～39歳≫≪40～49歳≫と≪60～69歳≫が5割台、≪20～29歳≫と≪50～59歳≫が4割台となっています。

一方、≪70歳以上≫では読み書きが「できない（評価1）」と回答した人は20.7%と、他の年齢に比べて多くなっています。

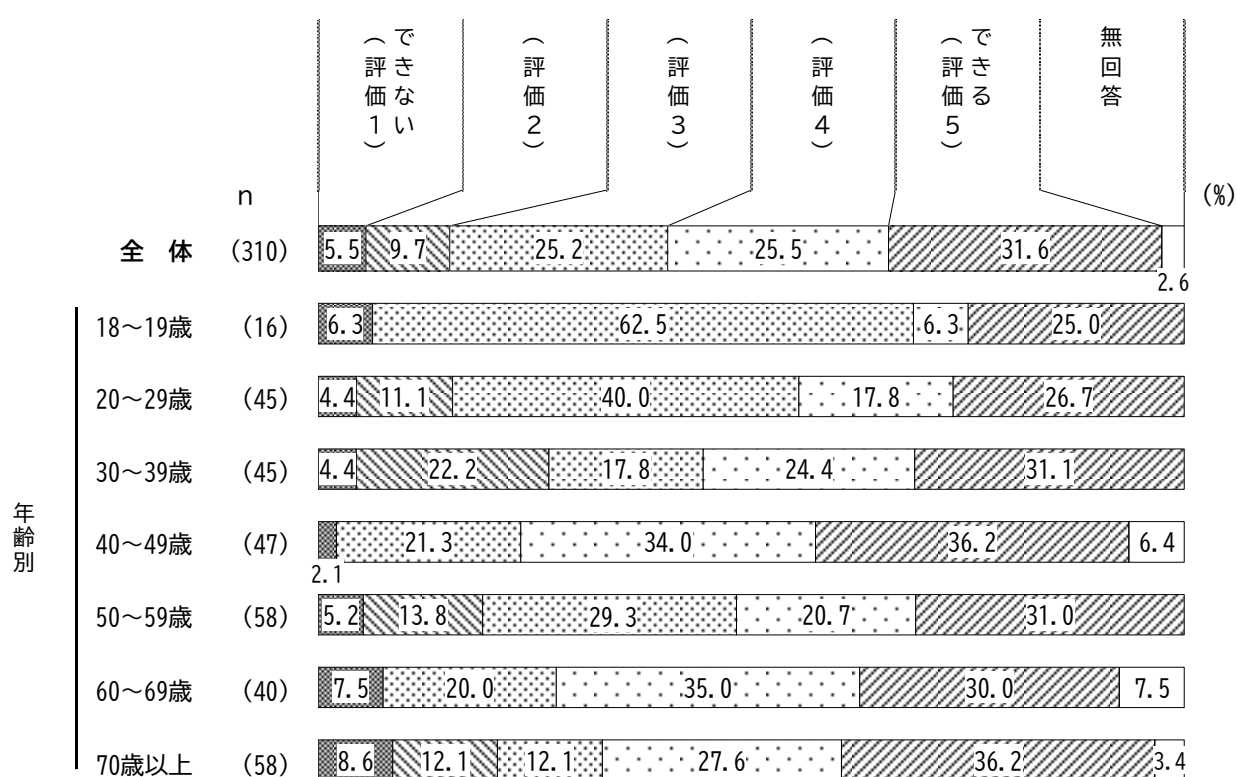


【③ ①話す・聞く力②書く・読む力を合わせた全体的な日本語の力】

年齢別にみると、両方「できる（評価5）」と回答した割合は、《20～29歳》で26.7%と最も少なく、《30～39歳》から上のいずれの年齢でも3割台となっています。

また、両方“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《40～49歳》が70.2%と最も高く、次いで《60～69歳》と《70歳以上》が6割台、《30～39歳》と《50～59歳》が5割台、《20～29歳》が4割台となっています。

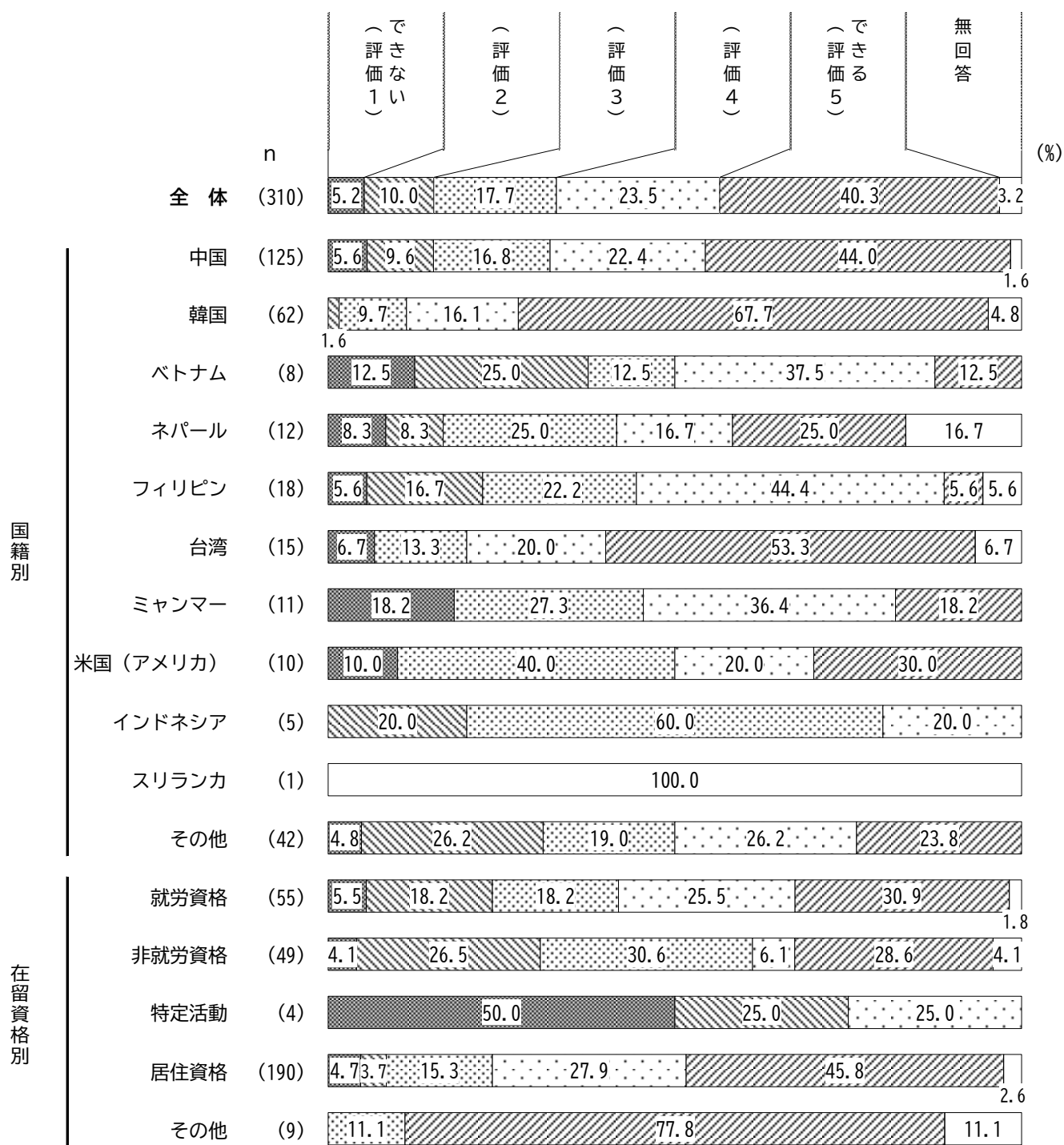
一方、“できない（評価1）＋（評価2）（計）”の割合でみると、《30～39歳》が26.6%と、他の年齢に比べて多くなっています。



【① 話す・聞く力】

国籍別に“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《韓国》が83.8%、《中国》が66.4%となっています。

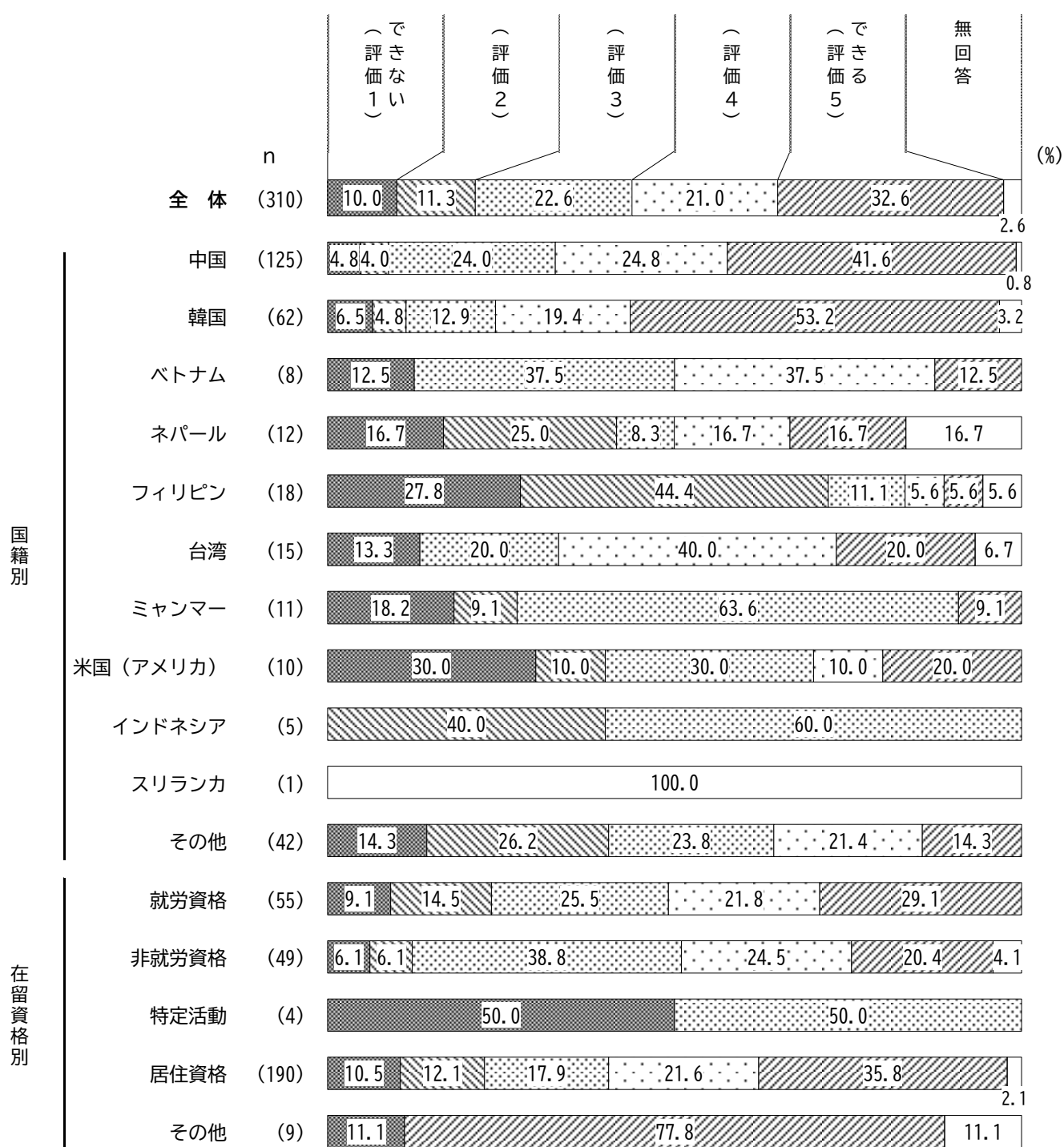
在留資格別に“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《居住資格》が73.7%、《就労資格》が56.4%、《非就労資格》が34.7%となっています。



【② 書く・読む力】

国籍別に“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《韓国》が72.6%、《中国》が66.4%となっています。

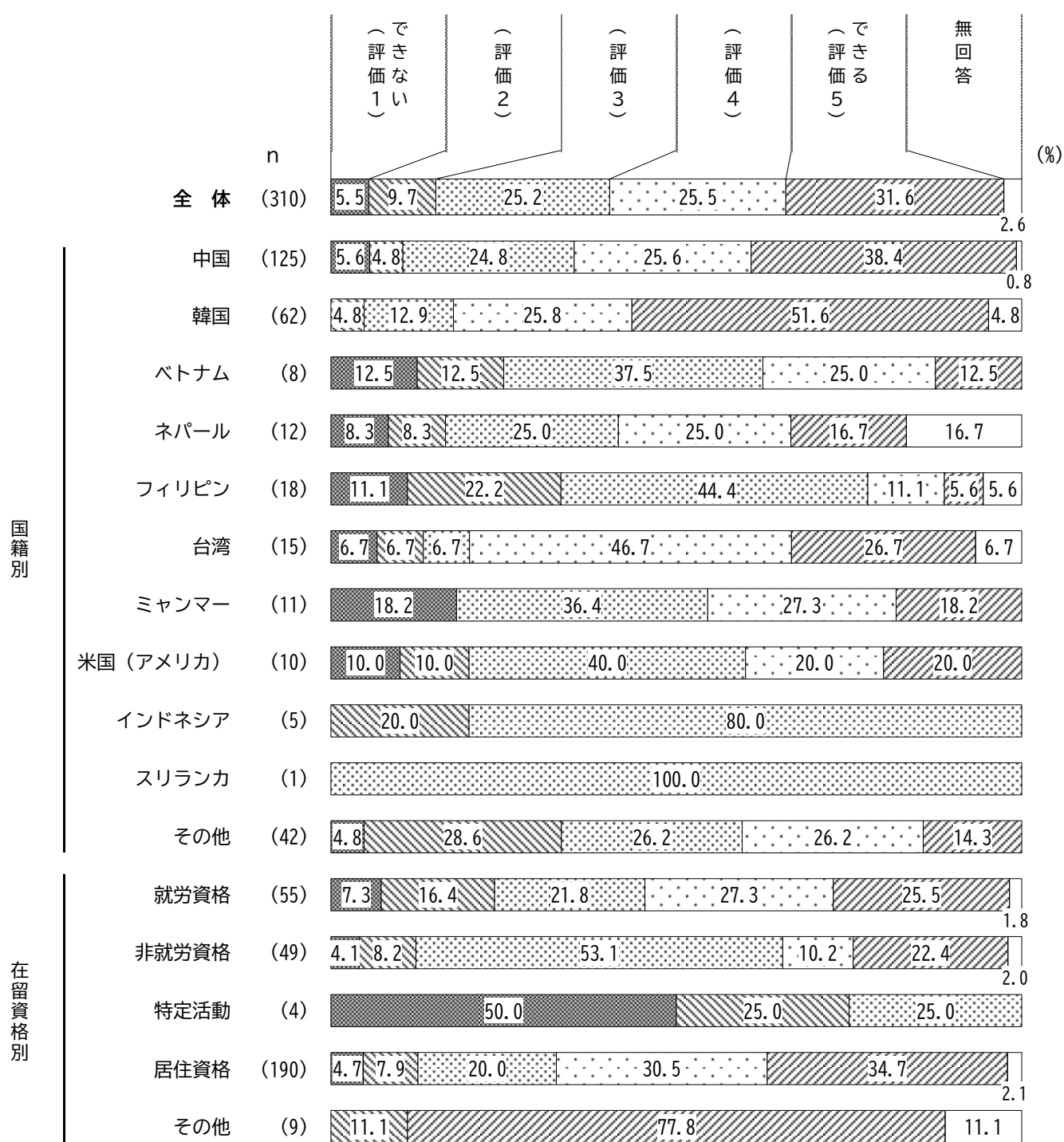
在留資格別に“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《居住資格》が57.4%、《就労資格》が50.9%、《非就労資格》が44.9%となっています。



【③ ①話す・聞く力②書く・読む力を合わせた全体的な日本語の力】

国籍別に両方“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《韓国》が77.4%、《中国》が64.0%となっています。

在留資格別に両方“できる（評価5）＋（評価4）（計）”の割合をみると、《居住資格》が65.2%、《就労資格》が52.8%、《非就労資格》が32.6%となっています。

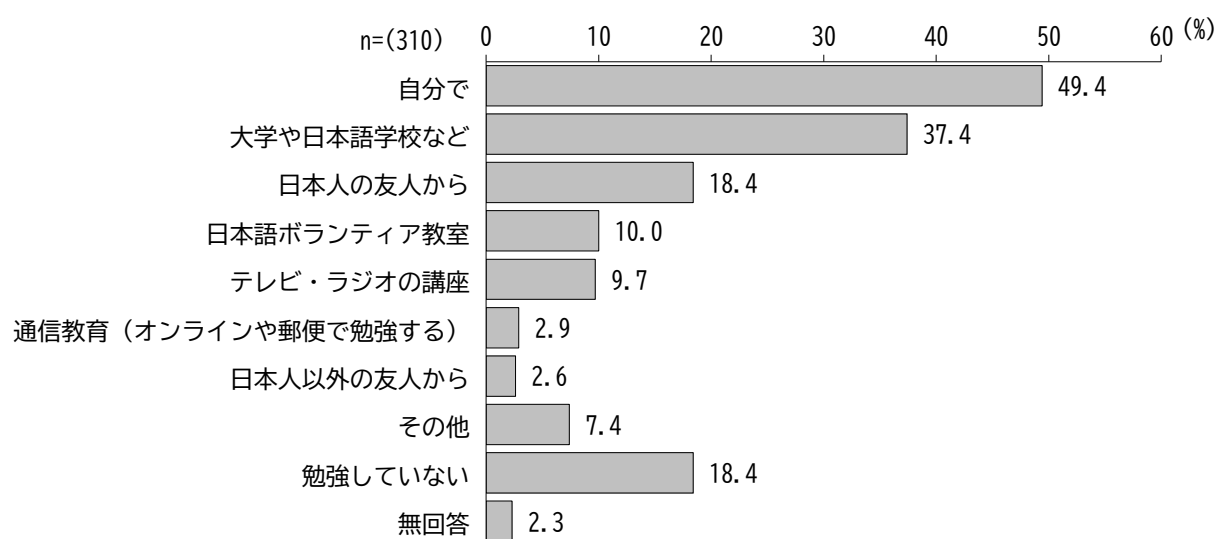


(2) 日本語の勉強方法

問23 あなたは、どのように日本語を勉強していますか。（「勉強していない」以外は問25へ）（あなたが日本語を勉強している方法全部に○をつけてください）

日本語の勉強方法は、「自分で」が49.4%と最も多く、次いで「大学や日本語学校など」が37.4%となっています。

一方、「勉強していない」と回答した人は18.4%となっています。



第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、多くの年齢で「自分で」勉強している割合が最も多くなっています。《20～29歳》では「大学や日本語学校など」、《70歳以上》では「勉強していない」が最も多くなっています。また、「日本人の友人から」は年齢が低いほど割合が高く、《20～29歳》では31.1%、《30～39歳》で24.4%となっています。

就労の有無別にみると、《働いている》人は「自分で」勉強している割合が54.4%と最も多く、《働いていない》人よりも13.2ポイント高くなっています。また、《働いていない》人では「勉強していない」が23.7%となっています。

単位：(%)

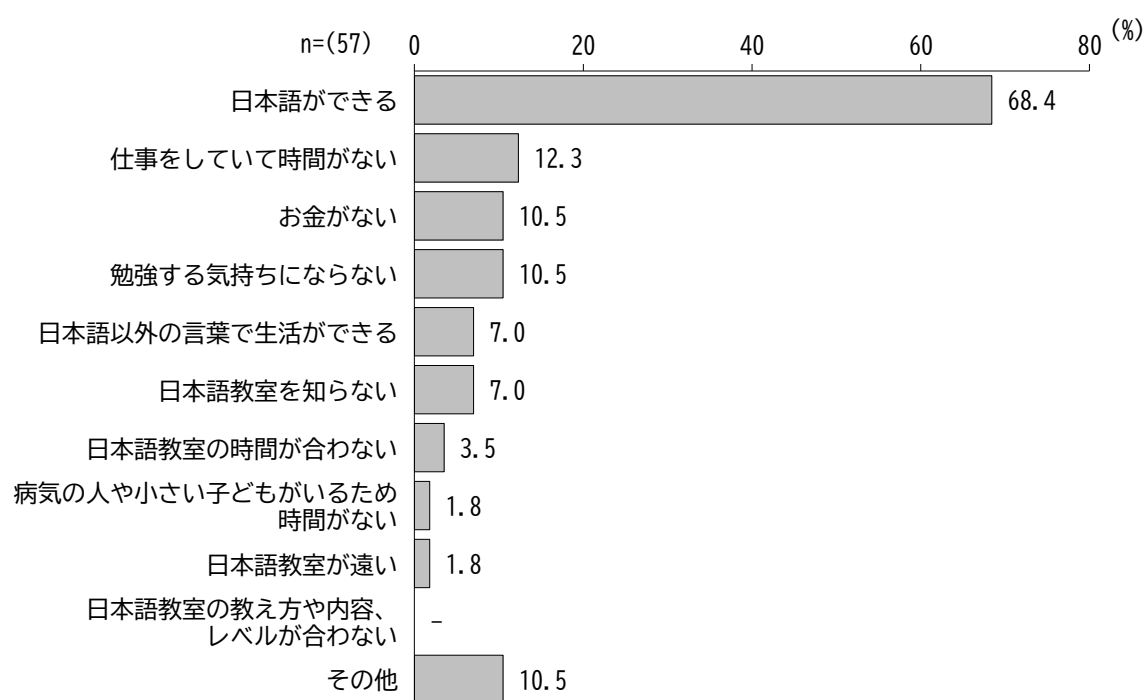
		回答者数 (n)	自分で	大学や日本語学校など	日本人の友人から	日本語ボランティア教室	テレビ・ラジオの講座	通信教育（オンラインや郵便で勉強する）	日本人以外の友人から	その他	勉強していない	無回答
全 体		310	49.4	37.4	18.4	10.0	9.7	2.9	2.6	7.4	18.4	2.3
年 齢 別	18～19歳	16	43.8	68.8	6.3	6.3	6.3	-	-	6.3	12.5	-
	20～29歳	45	62.2	66.7	31.1	6.7	11.1	6.7	8.9	2.2	2.2	-
	30～39歳	45	53.3	40.0	24.4	17.8	4.4	8.9	4.4	4.4	11.1	-
	40～49歳	47	48.9	38.3	19.1	10.6	14.9	2.1	-	8.5	17.0	6.4
	50～59歳	58	55.2	22.4	17.2	19.0	10.3	1.7	1.7	12.1	19.0	-
	60～69歳	40	52.5	37.5	15.0	2.5	12.5	-	2.5	2.5	15.0	5.0
	70歳以上	58	29.3	19.0	8.6	3.4	6.9	-	-	12.1	41.4	3.4
有就 無労 別の	働いている	195	54.4	39.0	18.5	11.3	8.2	4.1	2.6	7.2	15.4	2.1
	働いていない	114	41.2	34.2	18.4	7.0	12.3	0.9	2.6	7.9	23.7	2.6

(3) 日本語を勉強していない理由

問24 【問23で「勉強していない」と回答した方にお聞きします。】

なぜ日本語を勉強していないのですか。(勉強していない理由全部に○をつけてください)

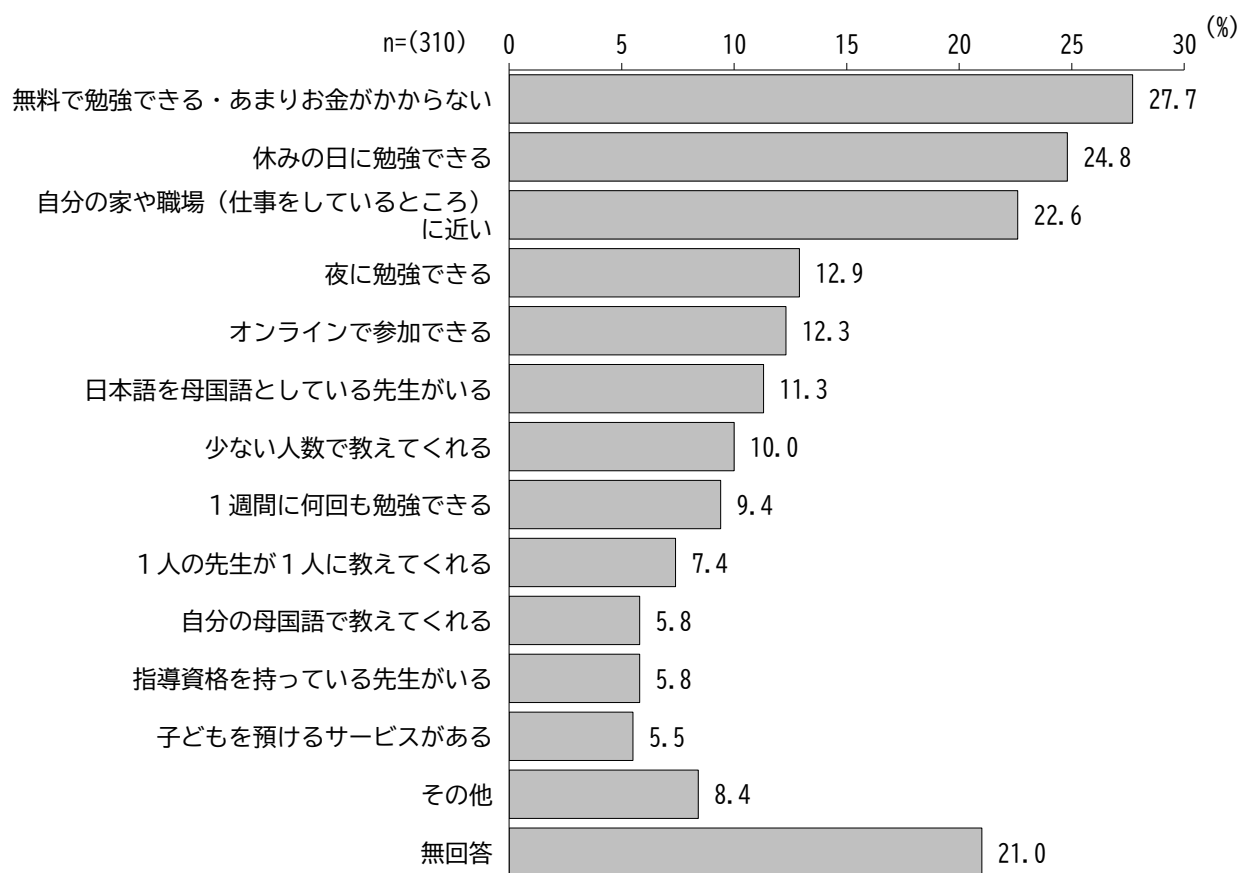
日本語を勉強していないと回答した人の理由としては、「日本語ができる」が68.4%と最も多く、次いで「仕事をしていて時間がない」が12.3%、「お金がない」と「勉強する気持ちにならない」がともに10.5%となっています。



(4) 日本語を勉強したい場所

問25 どんな場所で日本語を勉強したいですか。(3つまで○をつけてください)

日本語を勉強したい場所としては、「無料で勉強できる・あまりお金がかからない」が27.7%と最も多く、次いで「休みの日に勉強できる」が24.8%、「自分の家や職場（仕事をしているところ）に近い」が22.6%となっています。



居住地別にみると、いずれの地域も「無料で勉強できる・あまりお金がかからない」、「休みの日に勉強できる」、「自分の家や職場（仕事をしているところ）に近い」の3項目が上位に挙げられています。また、《中部》と《南部》では「夜に勉強できる」の割合が他の2地域に比べて高くなっています。

単位：（％）

		回答者数（n）	無料で勉強できる・あまりお金がかからない	休みの日に勉強できる	自分の家や職場（仕事をしているところ）に近い	夜に勉強できる	オンラインで参加できる	日本語を母国語としている先生がいる	少ない人数で教えてくれる
全 体		310	27.7	24.8	22.6	12.9	12.3	11.3	10.0
居住地別	南部	88	35.2	28.4	23.9	17.0	12.5	11.4	9.1
	中部	69	29.0	31.9	27.5	21.7	11.6	10.1	13.0
	西部	88	25.0	15.9	15.9	8.0	12.5	9.1	11.4
	北東部	64	20.3	25.0	23.4	4.7	12.5	15.6	6.3

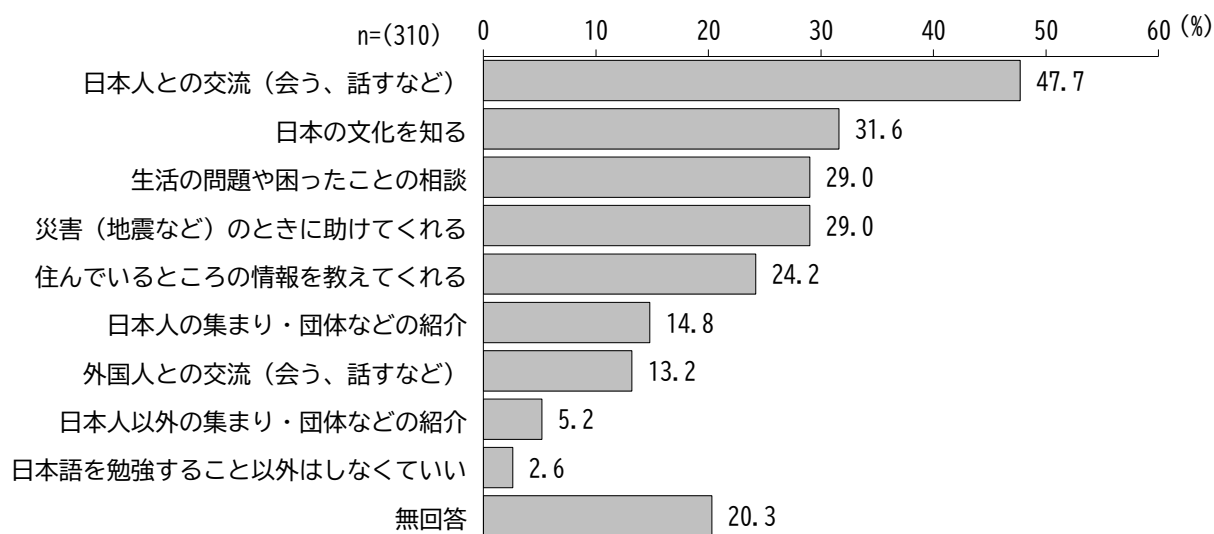
単位：（％）

		回答者数（n）	1週間に何回も勉強できる	1人の先生が1人に教えてくれる	自分の母国語で教えてくれる	指導資格を持っている先生がいる	子どもを預けるサービスがある	その他	無回答
全 体		310	9.4	7.4	5.8	5.8	5.5	8.4	21.0
居住地別	南部	88	8.0	9.1	5.7	4.5	10.2	5.7	17.0
	中部	69	10.1	1.4	2.9	8.7	-	11.6	15.9
	西部	88	8.0	5.7	6.8	5.7	6.8	8.0	25.0
	北東部	64	12.5	14.1	7.8	4.7	3.1	9.4	26.6

(5) 日本語を勉強する場所でやりたいこと

問26 日本語を勉強する場所でどんなことをやりたいですか。
(日本語を勉強すること以外で、やりたいと思うこと全部に○をつけてください)

日本語を勉強する場所でやりたいことは、「日本人との交流（会う、話すなど）」が47.7%と最も多く、次いで「日本の文化を知る」が31.6%、「生活の問題や困ったことの相談」と「災害（地震など）のときに助けてくれる」がともに29.0%と続いています。

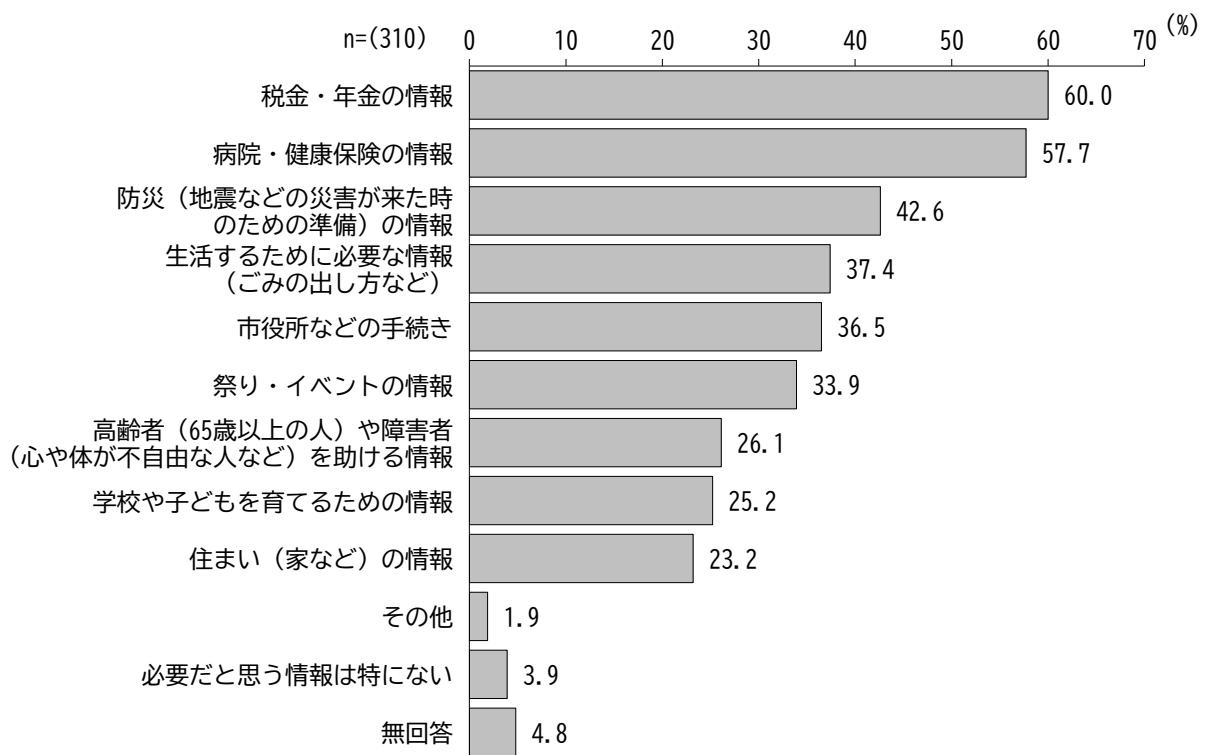


4. 情報の入手方法について

(1) 西東京市で生活していく中で必要な情報

問27 あなたが西東京市で生活していく中で、どんな情報が必要ですか。
(必要だと思うもの全部に○をつけてください)

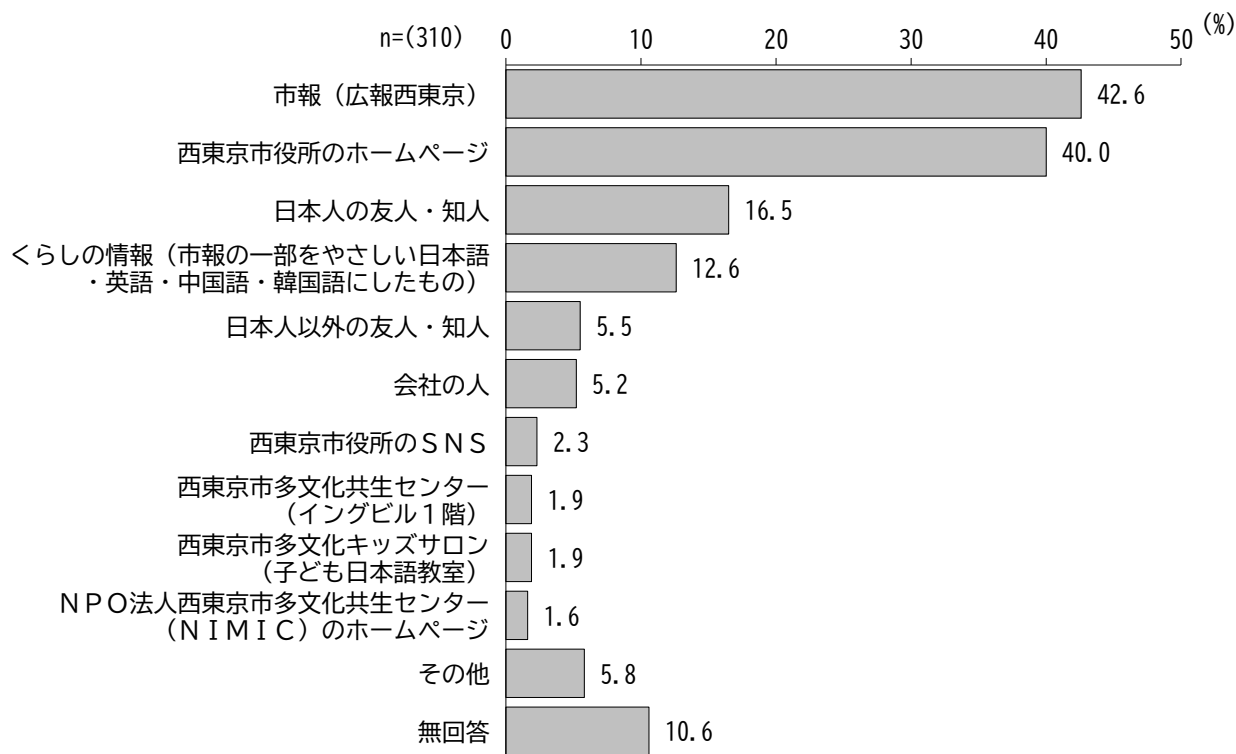
西東京市で生活していく中で必要な情報は、「税金・年金の情報」が60.0%と最も多く、次いで「病院・健康保険の情報」が57.7%、「防災（地震などの災害が来た時のための準備）の情報」が42.6%と続いています。



(2) 西東京市役所のサービスや手続きなどの情報入手方法

問28 あなたは、西東京市役所のサービスや手続きなどの情報を何で知りますか。
(よく使うものを選んで3つまで○をつけてください)

西東京市役所のサービスや手続きなどの情報入手方法は、「市報（広報西東京）」が42.6%と最も多く、次いで「西東京市役所のホームページ」が40.0%となっています。



1番使っている言語別にみると、「日本語」・「中国語」の人ではともに「市報（広報西東京）」が最も多く、次いで「西東京市役所のホームページ」となっています。「英語」の人では「西東京市役所のホームページ」が最も多く、「市報（広報西東京）」、「日本人の友人・知人」が続いています。

西東京市の居住期間別にみると、「～6か月」の人では「西東京市役所のホームページ」が33.3%と最も多く、次いで「市報（広報西東京）」が30.0%、「くらしの情報（市報の一部をやさしい日本語・英語・中国語・韓国語にしたもの）」が26.7%で続いています。「1年～3年」・「3年～5年」・「5年～10年」の人では「西東京市役所のホームページ」が4割～5割強と最も多くなっています。また、「5年～10年」・「10年～30年」の人では「市報（広報西東京）」が4割強～5割強と最も多く、長く住んでいる人にとって大事な情報入手先になっていることがうかがえます。

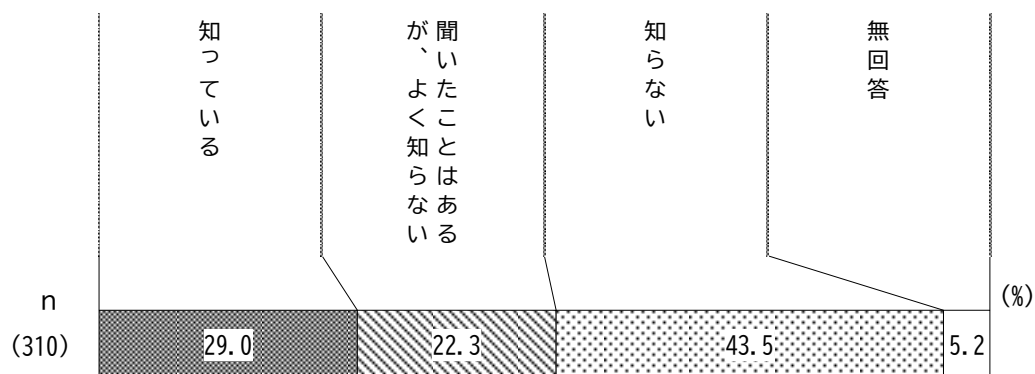
単位：（%）

		回答者数（n）	市報（広報西東京）	西東京市役所のホームページ	日本人の友人・知人	くらしの情報（市報の一部をやさしい日本語・英語・中国語・韓国語にしたもの）	日本人以外の友人・知人	会社の人	西東京市役所のSNS	西東京市多文化共生センター（イングリッシュ1階）	西東京市多文化キッズサロン（子ども日本語教室）	NPO法人西東京市多文化共生センター（NIMIC）のホームページ	その他	無回答
全 体		310	42.6	40.0	16.5	12.6	5.5	5.2	2.3	1.9	1.9	1.6	5.8	10.6
1 番 使 っ て い る 語 別	日本語	205	46.8	42.9	17.1	12.2	2.9	5.4	2.0	1.5	-	1.5	6.3	11.2
	英語	30	26.7	40.0	26.7	10.0	6.7	6.7	3.3	-	6.7	3.3	6.7	10.0
	中国語	41	43.9	36.6	7.3	14.6	14.6	2.4	4.9	7.3	9.8	2.4	-	2.4
	韓国語	9	33.3	55.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
	その他	23	30.4	17.4	21.7	21.7	8.7	8.7	-	-	-	-	13.0	13.0
西 東 京 市 の 居 住 期 間 別	～6か月	30	30.0	33.3	10.0	26.7	16.7	10.0	3.3	3.3	3.3	-	3.3	6.7
	6か月～1年	21	9.5	38.1	14.3	23.8	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	-	4.8	23.8
	1年～3年	48	29.2	41.7	16.7	16.7	4.2	8.3	8.3	2.1	6.3	6.3	2.1	8.3
	3年～5年	36	27.8	55.6	13.9	-	5.6	5.6	-	2.8	2.8	-	5.6	19.4
	5年～10年	61	49.2	55.7	13.1	8.2	3.3	1.6	1.6	1.6	-	1.6	6.6	8.2
	10年～30年	86	57.0	29.1	23.3	12.8	3.5	5.8	-	1.2	-	-	5.8	9.3
	30年～	28	64.3	25.0	14.3	7.1	3.6	-	-	-	-	3.6	14.3	7.1

(3)「やさしい日本語」の認知状況

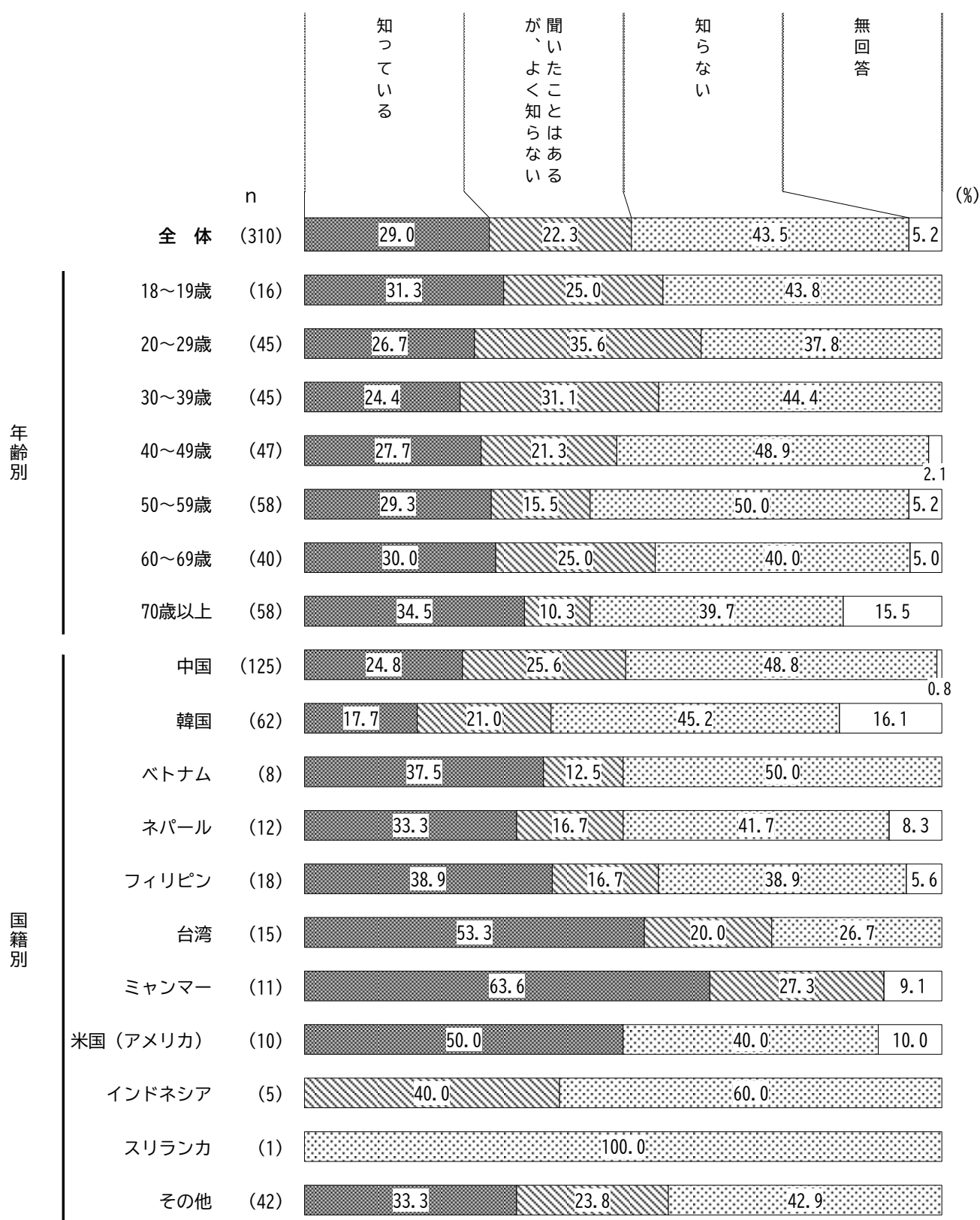
問29 日本語を外国人などに伝わりやすいようにしたものが「やさしい日本語」です。
「やさしい日本語」を知っていますか。(1つだけ○をつけてください)

「やさしい日本語」の認知状況は、「知っている」が29.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が22.3%、「知らない」が43.5%となっています。



年齢別にみると、「やさしい日本語」を「知っている」と回答した割合は、《60～69歳》と《70歳以上》で3割以上となっていますが、《50～59歳》から下の年齢ではいずれも2割台となっています。

国籍別にみると、「知っている」と回答した割合は、《中国》が24.8%、《韓国》が17.7%となっています。

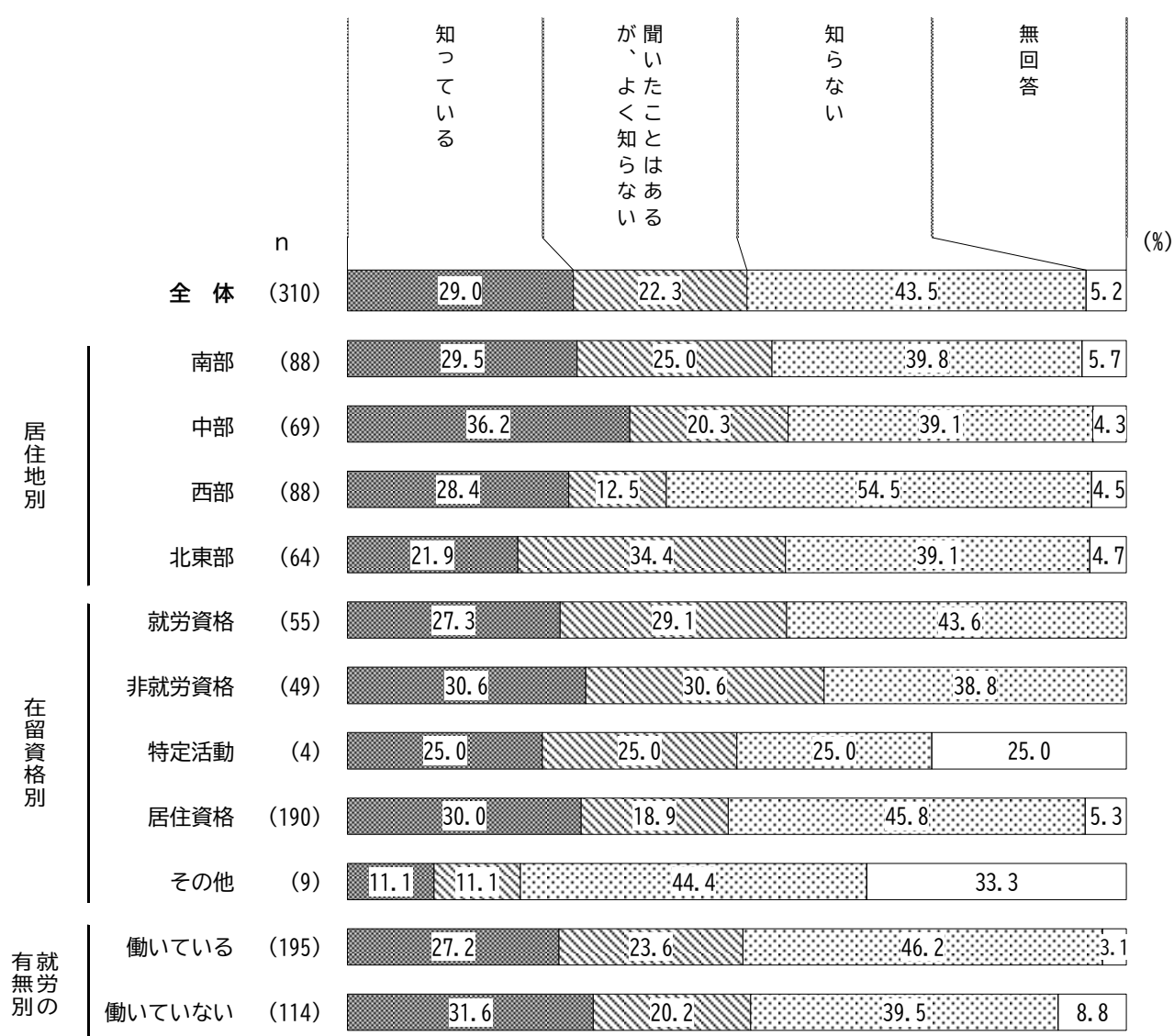


第2章 調査結果の詳細

居住地別にみると、「やさしい日本語」を「知っている」と回答した割合は、《中部》で36.2%、他の3地域では2割台となっています。また《西部》では「知らない」が54.5%と半数を超えています。

在留資格別にみると、「知っている」と回答した割合は、《非就労資格》で30.6%、《居住資格》で30.0%、《就労資格》で27.3%となっています。

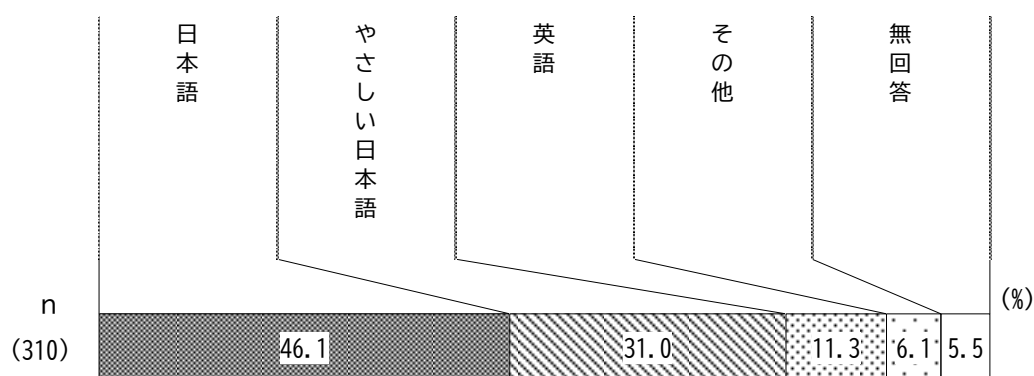
就労の有無別にみると、「知っている」と回答した割合は、《働いている》人で27.2%、《働いていない》人で31.6%となっています。また、《働いている》人で「知らない」は46.2%となっており、《働いている》人には「やさしい日本語」が十分に知られていない様子がうかがえます。



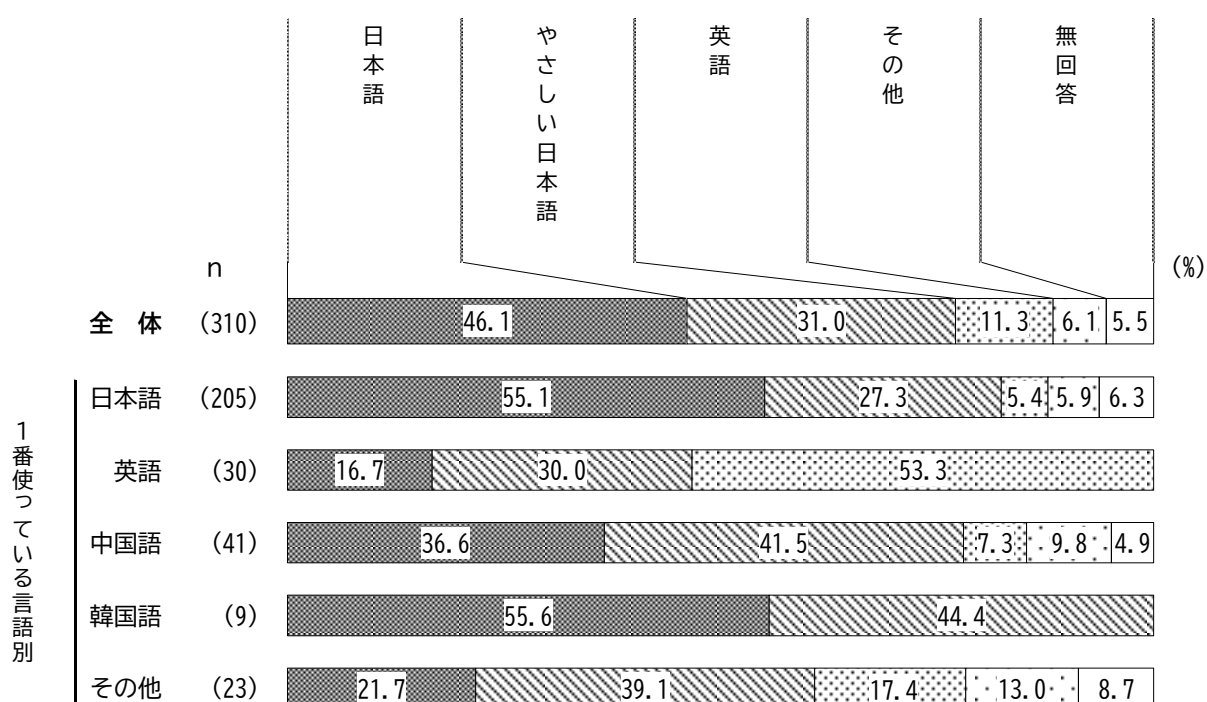
(4) 西東京市役所のサービスやお知らせで伝えてほしい言語

問30 あなたは、西東京市役所のサービスやお知らせをどの言葉で伝えてほしいですか。
(1つだけ○をつけてください)

西東京市役所のサービスやお知らせで伝えてほしい言語は、「日本語」が46.1%と最も多く、次いで「やさしい日本語」が31.0%となっています。



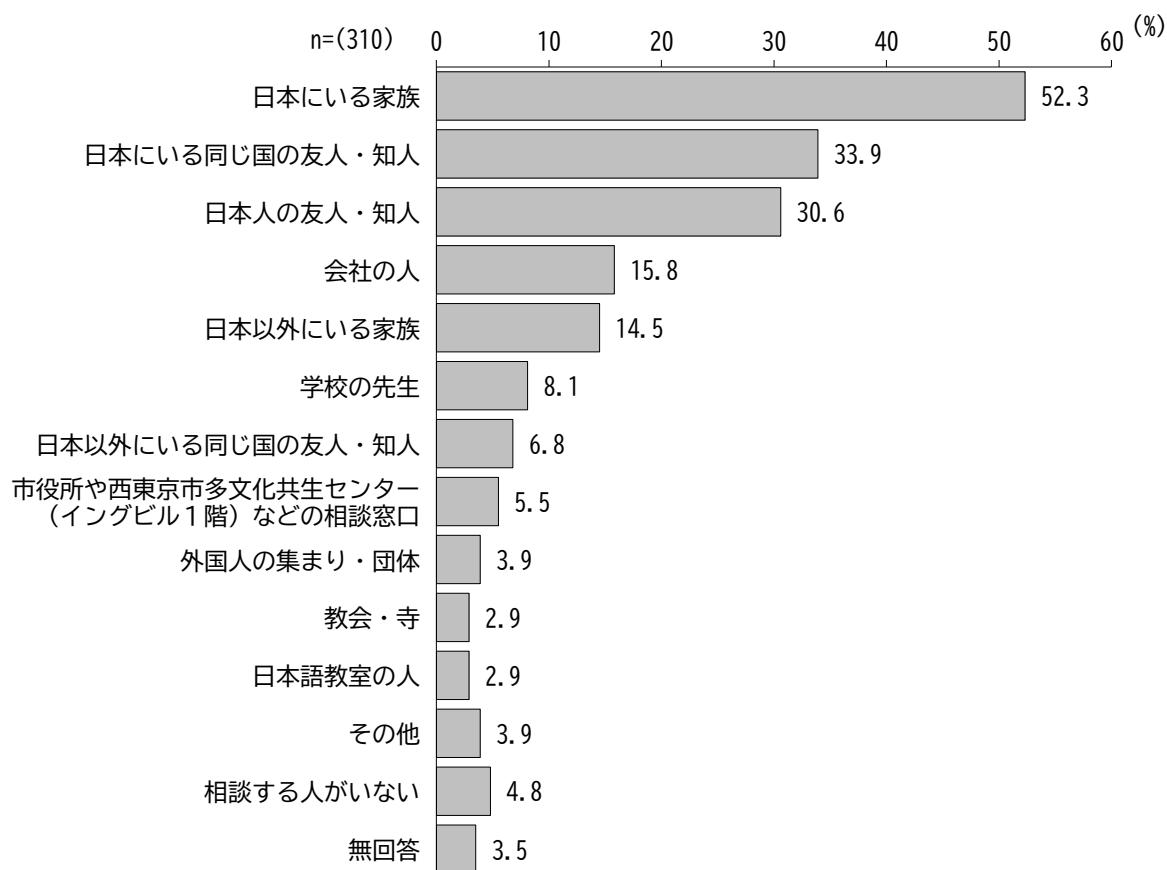
1番使っている言語別にみると、《日本語》の人は「日本語」が55.1%と最も多く、次いで「やさしい日本語」が27.3%となっています。《英語》の人は「英語」が53.3%と最も多く、次いで「やさしい日本語」が30.0%、《中国語》の人は「やさしい日本語」が41.5%と最も多く、次いで「日本語」が36.6%となっています。



(5) 困っているときの相談先

問31 あなたは困っているときに誰に相談しますか。
(よく相談する人を選んで3つまで○をつけてください)

自身が困っているときの相談先は、「日本にいる家族」が52.3%と最も多く、次いで「日本にいる同じ国の友人・知人」が33.9%、「日本人の友人・知人」が30.6%となっています。



年齢別にみると、《20～29歳》では「日本にいる同じ国の友人・知人」、《30～39歳》以上の年齢では「日本にいる家族」が最も多く、特に、《40～49歳》以上の年齢では「日本にいる家族」がおおむね6割～7割と割合が高いのが特徴的であり、年齢が上がるにつれて「日本にいる同じ国の友人・知人」、「会社の人」の割合が減少しています。

国籍別にみると、《中国》では「日本にいる家族」が52.0%と最も多く、次いで「日本にいる同じ国の友人・知人」が34.4%、「日本人の友人・知人」が28.0%となっています。《韓国》も「日本にいる家族」が54.8%と最も多く、次いで「日本人の友人・知人」が33.9%、「日本にいる同じ国の友人・知人」が21.0%となっていますが、「相談する人がいない」と回答した人が11.3%います。

単位：(%)

		回答者数 (n)	日本にいる家族	日本にいる同じ国の友人・知人	日本人の友人・知人	会社の人	日本以外にいる家族	学校の先生	日本人以外にいる同じ国の友人・知人	市役所や西多文化共生センター（イングリッシュルーム）などの相談窓口	外国人の集まり・団体	教会・寺	日本語教室の人	その他	相談する人がいない	無回答
全 体		310	52.3	33.9	30.6	15.8	14.5	8.1	6.8	5.5	3.9	2.9	2.9	3.9	4.8	3.5
年 齢 別	18～19歳	16	25.0	31.3	25.0	-	31.3	50.0	12.5	-	-	-	12.5	-	6.3	-
	20～29歳	45	15.6	46.7	28.9	17.8	24.4	28.9	13.3	-	4.4	2.2	4.4	6.7	6.7	-
	30～39歳	45	37.8	33.3	20.0	26.7	24.4	8.9	13.3	4.4	-	-	4.4	4.4	4.4	2.2
	40～49歳	47	61.7	42.6	34.0	23.4	14.9	-	4.3	2.1	6.4	2.1	4.3	-	6.4	2.1
	50～59歳	58	67.2	31.0	36.2	19.0	10.3	-	5.2	6.9	5.2	3.4	1.7	3.4	6.9	1.7
	60～69歳	40	57.5	32.5	35.0	12.5	10.0	-	-	7.5	2.5	5.0	-	2.5	5.0	7.5
	70歳以上	58	72.4	20.7	31.0	1.7	1.7	-	3.4	12.1	5.2	5.2	-	6.9	-	8.6
国 籍 別	中国	125	52.0	34.4	28.0	17.6	18.4	12.0	8.0	5.6	2.4	3.2	4.8	1.6	4.8	1.6
	韓国	62	54.8	21.0	33.9	8.1	4.8	1.6	3.2	8.1	1.6	1.6	-	4.8	11.3	11.3
	ベトナム	8	37.5	62.5	12.5	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	ネパール	12	41.7	41.7	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	-	-	-	8.3	-	8.3	8.3
	フィリピン	18	66.7	33.3	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	11.1	-	-	-	-
	台湾	15	73.3	46.7	40.0	13.3	26.7	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-
	ミャンマー	11	36.4	27.3	36.4	18.2	36.4	18.2	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1
	米国（アメリカ）	10	70.0	20.0	50.0	10.0	-	-	10.0	-	-	10.0	-	10.0	-	-
	インドネシア	5	20.0	40.0	40.0	40.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-
	スリランカ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	42	45.2	40.5	33.3	16.7	11.9	2.4	7.1	4.8	9.5	2.4	4.8	14.3	-	-

第2章 調査結果の詳細

居住地別にみると、いずれの地域も「日本にいる家族」に相談する割合が最も多く、特に、《西部》で61.4%、《南部》で54.5%となっています。「日本にいる家族」以外の相談先として2～3番目に多いのは、《南部》と《西部》では「日本人の友人・知人」、「日本にいる同じ国の友人・知人」の順、《中部》と《北東部》では「日本にいる同じ国の友人・知人」、「日本人の友人・知人」の順となっています。

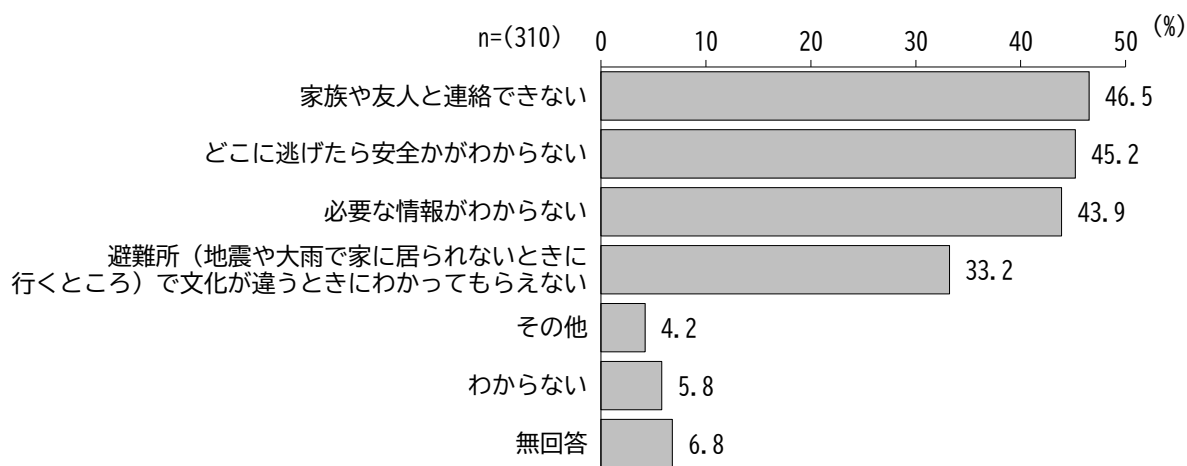
単位：(%)

	回答者数（n）	日本にいる家族	日本にいる同じ国の友人・知人	日本人の友人・知人	会社の人	日本以外にいる家族	学校の先生	日本以外にいる同じ国の友人・知人	市役所や西東京市多文化共生センター（イングリッシュビル1階）などの相談窓口	外国人の集まり・団体	教会・寺	日本語教室の人	その他	相談する人がいない	無回答
全 体	310	52.3	33.9	30.6	15.8	14.5	8.1	6.8	5.5	3.9	2.9	2.9	3.9	4.8	3.5
居住地別															
南部	88	54.5	33.0	34.1	15.9	15.9	9.1	10.2	4.5	5.7	3.4	1.1	3.4	2.3	3.4
中部	69	47.8	30.4	20.3	17.4	15.9	13.0	2.9	8.7	1.4	1.4	2.9	5.8	8.7	1.4
西部	88	61.4	36.4	38.6	14.8	10.2	4.5	4.5	6.8	5.7	4.5	2.3	1.1	3.4	4.5
北東部	64	40.6	34.4	26.6	14.1	17.2	6.3	9.4	1.6	1.6	1.6	6.3	6.3	6.3	4.7

(6) 地震などの災害が起きたときに心配なこと

問32 地震などの災害が起きたとき、何が心配ですか。(心配なこと全部に○をつけてください)

地震などの災害が起きたときに心配なことは、「家族や友人と連絡できない」が46.5%と最も多く、次いで「どこに逃げたら安全かがわからない」が45.2%、「必要な情報がわからない」が43.9%と続いています。



第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「40～49歳」と「70歳以上」では「家族や友人と連絡できない」、「20～29歳」と「60～69歳」では「どこに逃げたら安全かわからない」、「30～39歳」と「50～59歳」では「必要な情報がわからない」が最も多くなっています。また、「20～29歳」と「30～39歳」では、「避難所（地震や大雨で家に居られないときに行くところ）で文化が違うときにわかってもらえない」が半数近くの48.9%と他の年齢に比べて高くなっています。

西東京市の居住期間別にみると、「3年～5年」以下の人では「どこに逃げたら安全かわからない」、「避難所（地震や大雨で家に居られないときに行くところ）で文化が違うときにわかってもらえない」の割合が多く、「5年～10年」以上の人では「家族や友人と連絡ができない」が多くなっています。

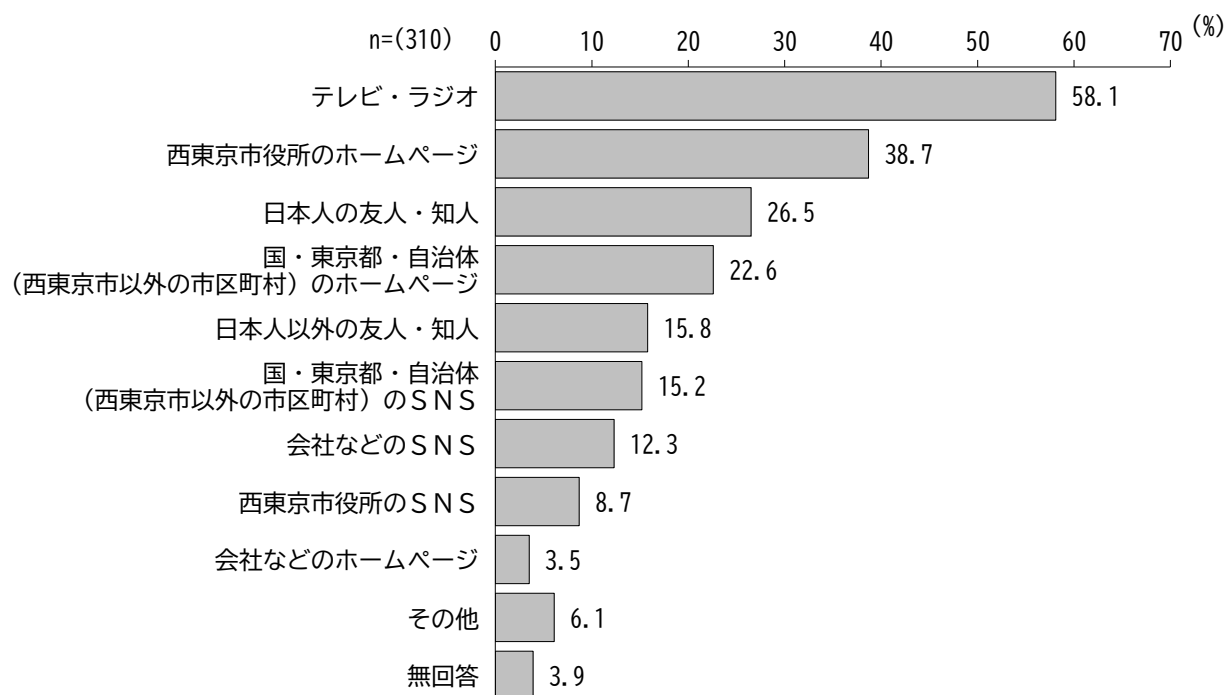
単位：（%）

		回答者数（n）	家族や友人と連絡できない	どこに逃げたら安全かわからない	必要な情報がわからない	避難所（地震や大雨で家に居られないときに行くところ）で文化が違うときにわかってもらえない	その他	わからない	無回答
全 体		310	46.5	45.2	43.9	33.2	4.2	5.8	6.8
年 齢 別	18～19歳	16	18.8	56.3	31.3	25.0	-	18.8	-
	20～29歳	45	48.9	51.1	40.0	48.9	4.4	4.4	2.2
	30～39歳	45	55.6	37.8	62.2	48.9	2.2	2.2	-
	40～49歳	47	51.1	48.9	38.3	29.8	4.3	4.3	6.4
	50～59歳	58	41.4	39.7	46.6	34.5	6.9	6.9	8.6
	60～69歳	40	55.0	57.5	42.5	25.0	2.5	7.5	10.0
	70歳以上	58	41.4	37.9	39.7	19.0	3.4	5.2	13.8
西東京市の居住期間別	～6か月	30	50.0	56.7	46.7	46.7	-	3.3	3.3
	6か月～1年	21	38.1	38.1	71.4	38.1	-	9.5	4.8
	1年～3年	48	47.9	50.0	37.5	47.9	4.2	8.3	2.1
	3年～5年	36	25.0	52.8	36.1	44.4	5.6	11.1	8.3
	5年～10年	61	55.7	45.9	47.5	31.1	6.6	3.3	6.6
	10年～30年	86	51.2	40.7	44.2	22.1	5.8	3.5	8.1
	30年～	28	39.3	32.1	32.1	14.3	-	7.1	14.3

(7) 地震などの災害が起きたときの情報入手先

問33 地震などの災害が起きたとき、あなたはどこから情報を集めますか。
(情報を集めるところ全部に○をつけてください)

地震などの災害が起きたときの情報入手先は、「テレビ・ラジオ」が58.1%と最も多く、次いで「西東京市役所のホームページ」が38.7%となっています。



第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「20～29歳」と「30～39歳」では「西東京市役所のホームページ」、40～49歳以上では「テレビ・ラジオ」が最も多く、特に「50～59歳」以上では「テレビ・ラジオ」が7割を超えています。

西東京市の居住期間別にみると、「～6か月」では「テレビ・ラジオ」と「日本人の友人・知人」がともに40.0%と最も多くなっています。「1年～3年」以上では「テレビ・ラジオ」がおおむね5割～6割で最も多く、居住年数を重ねていくにつれて割合が増加する傾向となっています。また、「西東京市役所のホームページ」は、「3年～5年」と「5年～10年」で4割台となっています。

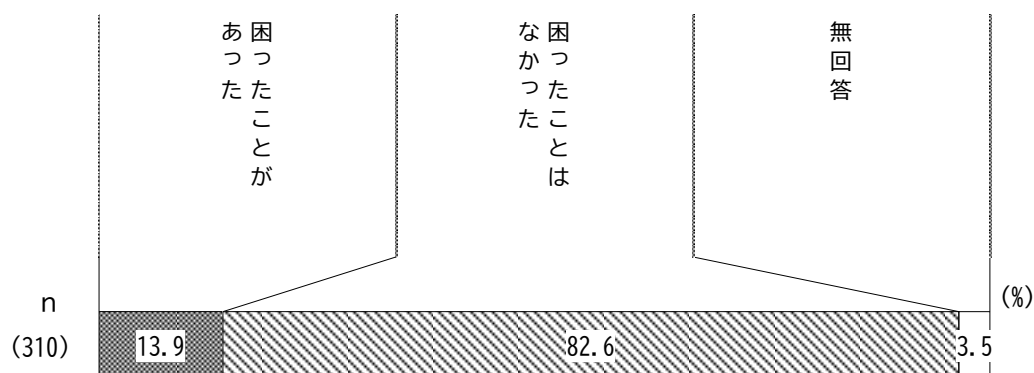
単位：(%)

													単位：(%)	
		回答者数（n）	テレビ・ラジオ	西東京市役所のホームページ	日本人の友人・知人	国・東京都・自治体（西東京市以外の市区町村）のホームページ	日本人以外の友人・知人	国・東京都・自治体（西東京市以外の市区町村）のSNS	会社などのSNS	西東京市役所のSNS	会社などのホームページ	その他	無回答	
全 体		310	58.1	38.7	26.5	22.6	15.8	15.2	12.3	8.7	3.5	6.1	3.9	
年 齢 別	18～19歳	16	43.8	31.3	37.5	18.8	25.0	6.3	6.3	12.5	-	-	-	
	20～29歳	45	31.1	40.0	22.2	28.9	17.8	26.7	17.8	13.3	2.2	4.4	4.4	
	30～39歳	45	42.2	46.7	20.0	22.2	26.7	20.0	26.7	11.1	8.9	2.2	-	
	40～49歳	47	55.3	42.6	25.5	25.5	4.3	17.0	21.3	4.3	4.3	6.4	6.4	
	50～59歳	58	75.9	37.9	31.0	20.7	15.5	10.3	8.6	8.6	5.2	6.9	1.7	
	60～69歳	40	72.5	47.5	20.0	25.0	7.5	15.0	5.0	2.5	2.5	2.5	5.0	
	70歳以上	58	70.7	25.9	32.8	17.2	19.0	8.6	-	10.3	-	13.8	5.2	
西東京市の居住期間別	～6か月	30	40.0	33.3	40.0	23.3	33.3	13.3	6.7	10.0	-	6.7	-	
	6か月～1年	21	28.6	38.1	9.5	23.8	4.8	4.8	38.1	9.5	4.8	-	9.5	
	1年～3年	48	47.9	35.4	25.0	22.9	25.0	31.3	18.8	10.4	2.1	2.1	4.2	
	3年～5年	36	58.3	41.7	19.4	19.4	11.1	11.1	16.7	8.3	2.8	8.3	8.3	
	5年～10年	61	68.9	47.5	26.2	24.6	14.8	9.8	13.1	9.8	8.2	6.6	3.3	
	10年～30年	86	67.4	37.2	26.7	24.4	9.3	17.4	5.8	5.8	2.3	7.0	3.5	
	30年～	28	64.3	32.1	35.7	14.3	17.9	7.1	-	10.7	3.6	10.7	-	

(8) 新型コロナウイルスの流行時に困ったこと

問34 たくさんの人が新型コロナウイルス（COVID-19）の病気になったとき、困ったことはありましたか。（「困ったことがあった」方はそのとき、どういうことに困ったのかも書いてください）（1つだけ○をつけてください）

新型コロナウイルスが流行したときに「困ったことがあった」と回答した人は13.9%、「困ったことはなかった」は82.6%となっています。



【困りごとの具体的な内容】

※「困ったことがあった」と回答した人にその内容を聞いたところ、25件の回答がありました。その中から、代表的なものについて抜粋・要約した内容を以下に記載しました。

[生活について]

- 食料品・日用品の調達に困った。
- 自分がコロナに感染した時に、子どもの面倒を見てくれる人がいなかった。
- 妻への介護サービスが止まり、重度障害者の自分が妻を介護しなければならなかった。
- 家族でコロナ感染者が出た時に出勤停止になり、その分の給料を支払ってもらえなかった。

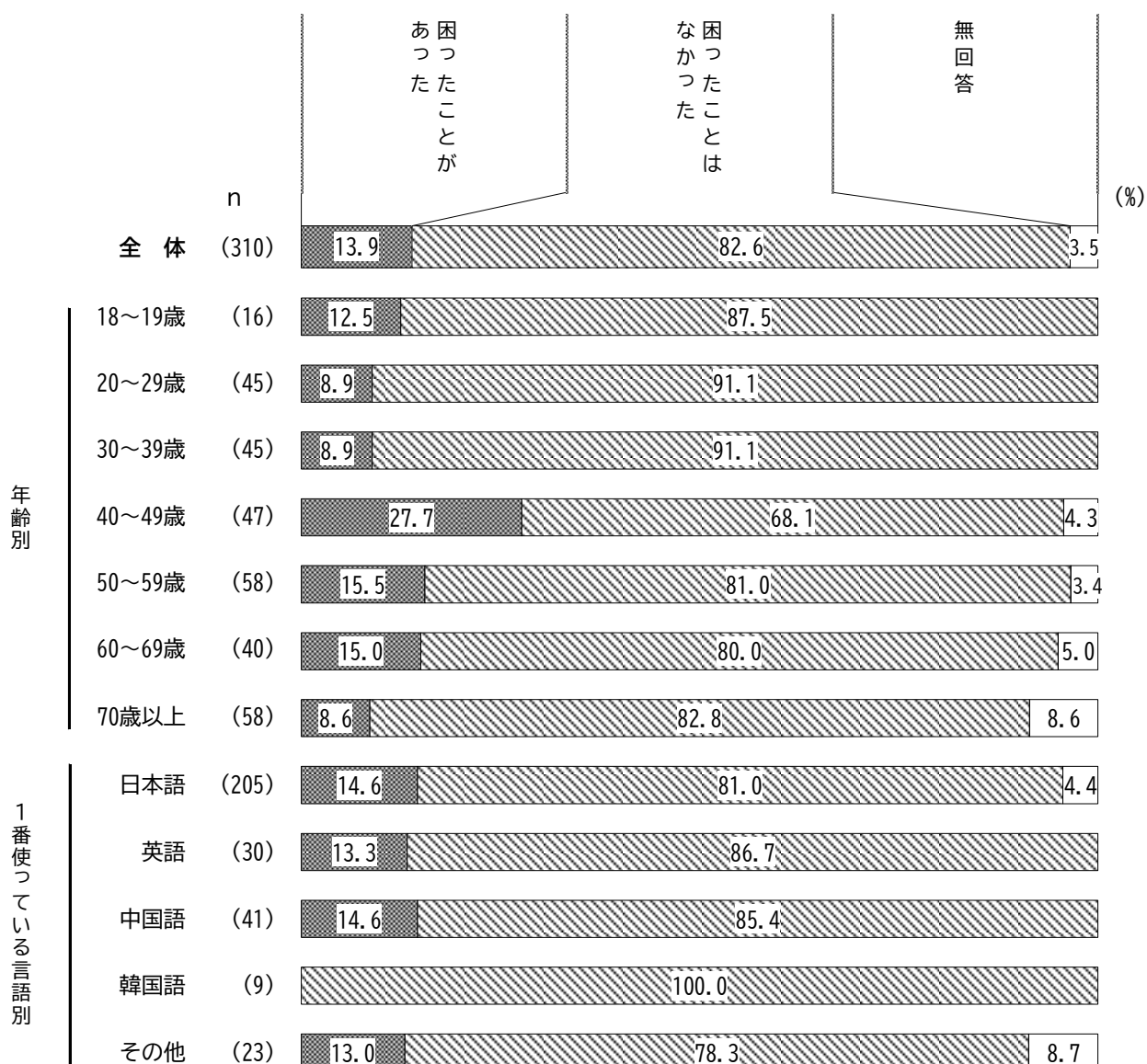
[ワクチン接種／医療について]

- ワクチン接種の予約ができなかった／いつ接種できるか不安だった。
- 病院で言葉が通じなくて困った。
- 病院の予約が取れなかった／病院で受け入れてもらえなかった。
- 夜間休日に発熱した時、診てくれる病院がなかった。
- 健康保険の手続きがまだ完了していない時、コロナ感染したが医療費を自費で支払うことがあった。
- 日本に戻るたびにコロナ感染の検査結果を求められ、どこで検査を受ければよいかわからなかった。検査を受けても費用が高かった。

第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「困ったことがあった」は《40～49歳》で27.7%と最も多く、《50～59歳》《60～69歳》で1割台となっています。

1番使っている言語別にみると、《日本語》《英語》《中国語》いずれも「困ったことがあった」が1割台となっており、特に大きな差は見られません。

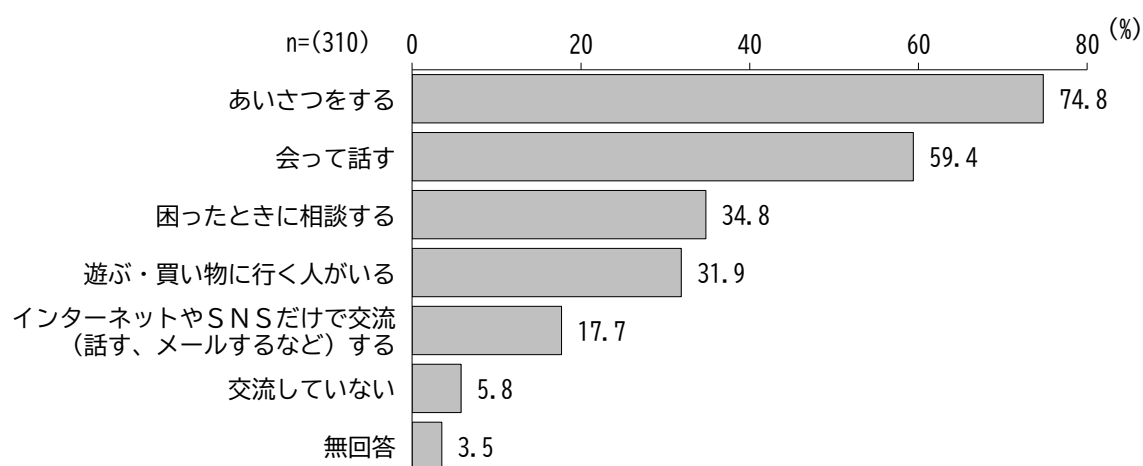


5. 地域の交流について

(1) 日本人との交流状況

問35 あなたは日本人とどんな交流（会う、話すなど）をしていますか。
（日本人としていること全部に○をつけてください）

日本人とどのような交流をしているかについては、「あいさつをする」が74.8%と最も多く、次いで「会って話す」が59.4%となっています。



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、男女とも「あいさつをする」がともに7割台で最も多くなっています。また、「会って話す」、「困ったときに相談する」、「遊ぶ・買い物に行く人がいる」に関しては、男性より女性の方が7ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「あいさつをする」が最も多く、次いで「会って話す」が続いています。また、「40～49歳」と「70歳以上」では「困ったときに相談する」がともに4割台、「40～49歳」では「遊ぶ・買い物に行く人がいる」が4割と多くなっています。

単位：（％）

		回答者数（n）	あいさつをする	会って話す	困ったときに相談する	遊ぶ・買い物に行く人がいる	インターネットやSNSだけで交流（話す、メールするなど）する	交流していない	無回答
全 体		310	74.8	59.4	34.8	31.9	17.7	5.8	3.5
性別	男性	145	72.4	55.9	30.3	26.2	17.9	7.6	4.1
	女性	162	77.2	63.0	37.7	37.0	17.3	4.3	3.1
年齢別	18～19歳	16	50.0	56.3	31.3	37.5	6.3	25.0	－
	20～29歳	45	77.8	62.2	24.4	35.6	22.2	2.2	－
	30～39歳	45	62.2	60.0	37.8	31.1	22.2	6.7	2.2
	40～49歳	47	70.2	66.0	40.4	40.4	27.7	－	6.4
	50～59歳	58	77.6	58.6	37.9	31.0	15.5	8.6	1.7
	60～69歳	40	80.0	45.0	22.5	17.5	7.5	7.5	5.0
	70歳以上	58	86.2	63.8	41.4	32.8	13.8	3.4	6.9

国籍別にみると、《中国》は「あいさつをする」が71.2%と最も多く、次いで「会って話す」が66.4%となっています。《韓国》も同様に「あいさつをする」が64.5%と最も多く、「会って話す」が45.2%と続いています。日本人とは「交流していない」が11.3%となっています。

西東京市の居住期間別にみると、《～6か月》の人は「あいさつをする」が66.7%と最も多いものの、《1年～3年》以上と比べると割合が低い傾向にあります。また日本人と「交流していない」が13.3%と、他の年齢よりも高くなっています。

単位：(%)

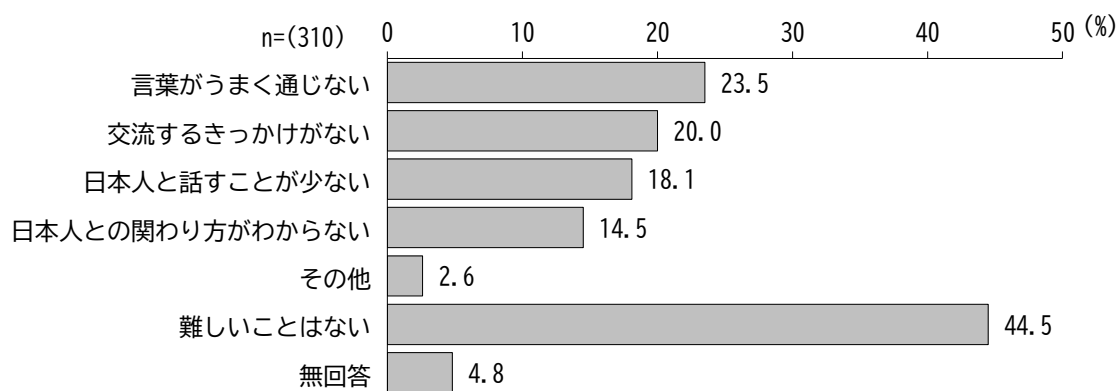
		回答者数 (n)	あいさつをする	会って話す	困ったときに相談する	遊ぶ・買い物に行く人がいる	インターネットやSNSで交流（話す、メールするなど）する	交流していない	無回答
全 体		310	74.8	59.4	34.8	31.9	17.7	5.8	3.5
国籍別	中国	125	71.2	66.4	32.0	30.4	17.6	6.4	1.6
	韓国	62	64.5	45.2	32.3	22.6	8.1	11.3	11.3
	ベトナム	8	87.5	62.5	75.0	50.0	37.5	-	-
	ネパール	12	75.0	58.3	50.0	41.7	16.7	-	8.3
	フィリピン	18	94.4	66.7	38.9	22.2	11.1	-	-
	台湾	15	93.3	66.7	53.3	33.3	20.0	-	-
	ミャンマー	11	72.7	27.3	9.1	9.1	36.4	9.1	9.1
	米国（アメリカ）	10	90.0	90.0	40.0	40.0	10.0	-	-
	インドネシア	5	100.0	80.0	20.0	20.0	20.0	-	-
	スリランカ	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	42	76.2	54.8	33.3	54.8	26.2	4.8	-
西東京市の居住期間別	～6か月	30	66.7	60.0	26.7	26.7	26.7	13.3	-
	6か月～1年	21	66.7	61.9	33.3	38.1	19.0	4.8	-
	1年～3年	48	75.0	56.3	37.5	37.5	22.9	4.2	2.1
	3年～5年	36	72.2	55.6	25.0	19.4	19.4	5.6	2.8
	5年～10年	61	70.5	54.1	39.3	31.1	16.4	8.2	8.2
	10年～30年	86	79.1	62.8	38.4	33.7	14.0	4.7	3.5
	30年～	28	89.3	67.9	32.1	35.7	10.7	-	3.6

(2) 日本人と交流する際に難しいこと

問36 あなたは日本人と交流（会う、話すなど）することについて、難しいことはありますか。
（3つまで○をつけてください）

日本人と交流する際に難しいことは、「言葉がうまく通じない」が23.5%と最も多く、次いで「交流するきっかけがない」が20.0%と続いています。

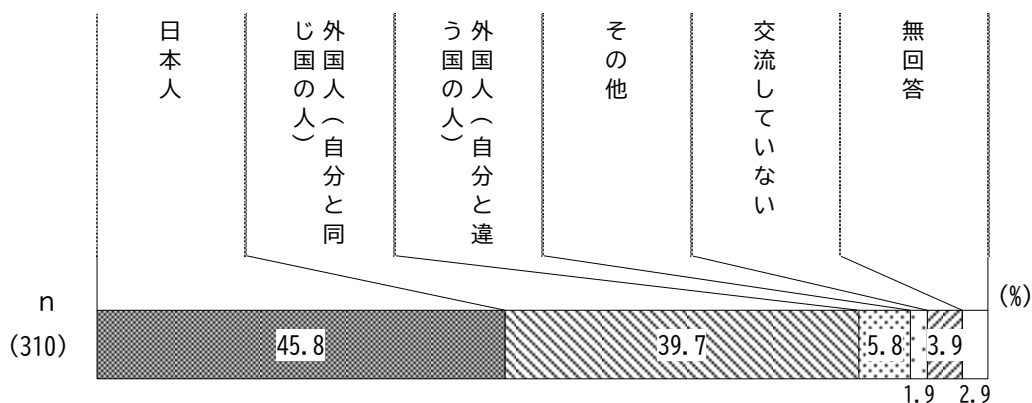
一方、「難しいことはない」と回答した人は44.5%となっています。



(3) いつも交流している相手

問37 あなたは、いつも誰と交流（会う、話すなど）していますか。
（1番交流している人を1つだけ○をつけてください）

いつも交流している相手は、「日本人」が45.8%と最も多く、次いで「外国人（自分と同じ国の人）」が39.7%となっています。

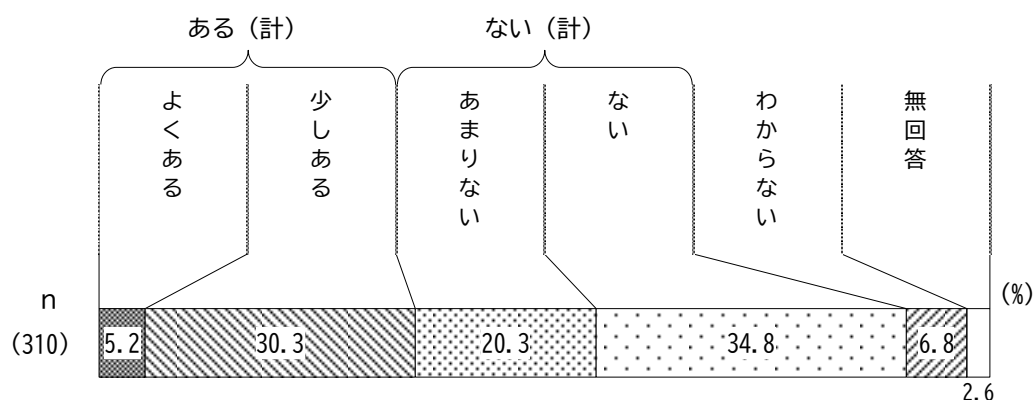


(4) 外国人だからという理由で嫌な思いをした経験

問38 あなたは生活している中で、「外国人だから」という理由で嫌な思いをすることがありますか。(1つだけ○をつけてください)

生活している中で「外国人だから」という理由で嫌な思いをした経験は、「よくある」が5.2%、「少しある」が30.3%となっており、“ある(計)”でみると35.5%となっています。

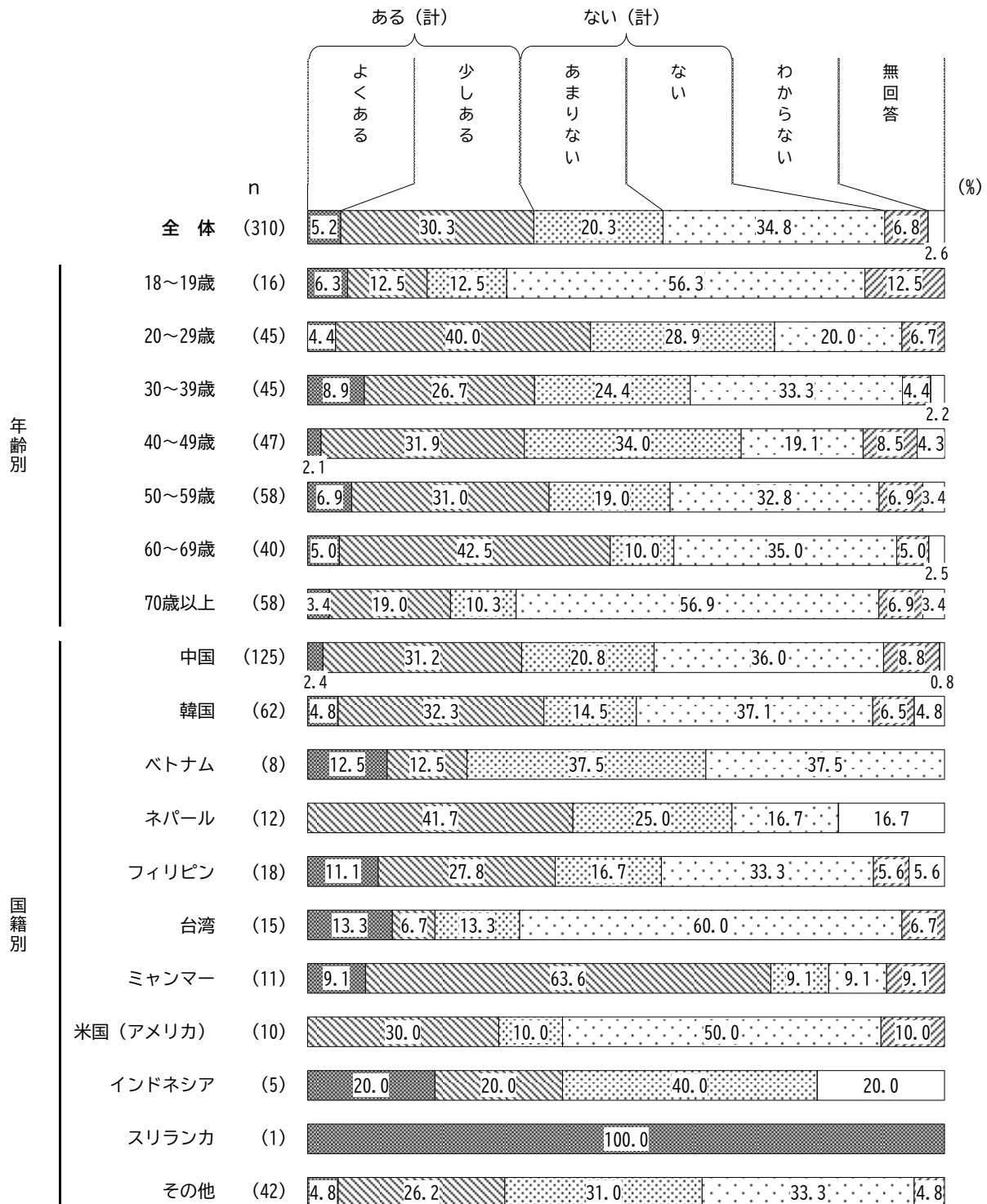
一方、「あまりない」が20.3%、「ない」が34.8%であり、“ない(計)”では55.1%となっています。



第2章 調査結果の詳細

年齢別に“ある（計）”をみると、《60～69歳》が47.5%と最も多く、次いで《20～29歳》が44.4%となっています。一方、“ない（計）”をみると、《70歳以上》が67.2%と最も多く、《30～39歳》《40～49歳》《50～59歳》はいずれも5割台となっています。

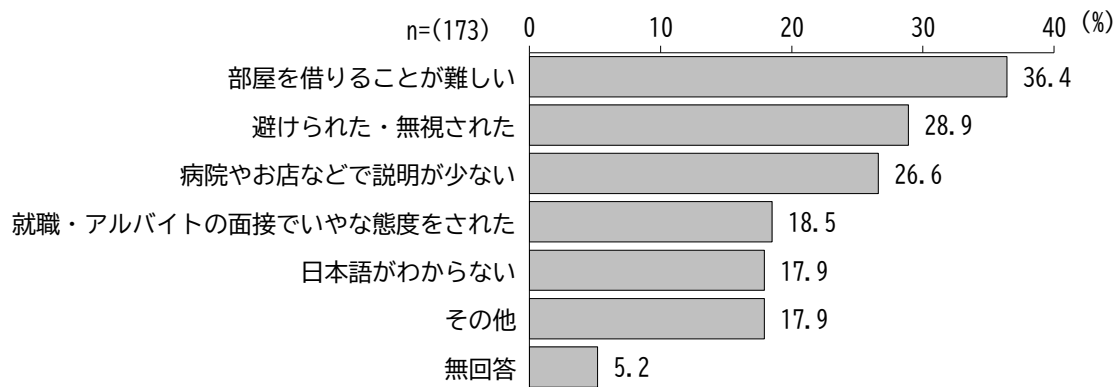
国籍別に嫌な思いをした経験が“ある（計）”をみると、《韓国》が37.1%、《中国》が33.6%となっています。また“ない（計）”では《中国》が56.8%、《韓国》が51.6%となっています。



(5) 外国人だからという理由で嫌な思いをした内容

問39 【問38で「よくある」「少しある」「あまりない」と回答した方にお聞きます。】外国人だからという理由で嫌な思いをしたのは、どんなことでしたか。
(嫌な思いをしたこと全部に○をつけてください)

外国人だからという理由で嫌な思いをした内容としては、「部屋を借りることが難しい」が36.4%と最も多く、次いで「避けられた・無視された」が28.9%、「病院やお店などで説明が少ない」が26.6%と続いています。



6. その他について

(1) 西東京市や暮らしについての意見

問40 西東京市や暮らしについて、もっと書きたいことがあればこちらに書いてください。

※自由回答71件の中から、代表的なものについて抜粋・要約した内容を以下に記載しました。

【主な意見】

【住環境について】

- 暮らしやすい。長く住み続けたい。都心へのアクセスがよい。
- 緑がある広い公園がもっと欲しい。公園で子どもが遊べる遊具を増やしてほしい。
- たばこの喫煙可と不可のエリアを明確にしてほしい。

【生活について】

- 以前より外国籍の人へのサービスが充実してきていると感じている。
- 外国人向けの情報発信の頻度を増やしてほしい。
- 日曜日も市役所の窓口を開いてほしい。
- 外国人でも病院の予約を取りやすくしてほしい。
- 健康診断を手軽に受けたい。
- 家族介護者が健康に過ごせるための手助けがほしい。
- 多子世帯に対して支援してほしい。
- 銀行口座の開設、不動産や携帯電話の契約などの相談ができる場がほしい。
- 外国人にも物価上昇に対する給付金を支給してほしい。

【子育て・教育について】

- 子どものこと／就学について相談できる場がほしい。
- 保育園児や幼稚園児に対しても学童のような子どもが預けられる場がほしい。
- 子どものために、いろいろな国の子どもたちが集まるイベントがあれば参加したい。

【日本語学習について】

- 日本語教室を増やしてほしい。
- 日本語検定がオンラインでも受けられるようにしてほしい。

〔多文化共生について〕

- 外国人に対して生活のルールが正しく伝わるようにしてほしい。
- 銀行や市役所などの窓口では、外国人だからといって面倒と思わずに対応してほしい。
- スポーツなどの趣味、仕事などで人と交流できる場がほしい。
- 日本人は外国人に話しかけることに恐れたりするのではなく、まずはコミュニケーションを図ってることが大切と思う。
- 暮らしている町では日本人同士の交流も少なく繋がりが弱いので、外国人が地域に馴染むことは難しいと感じている。

〔交通について〕

- 利用者が多い時間帯にバスの便数を増やしてほしい。「はなバス」の便数を増やしてほしい。
- バス停に屋根がほしい。
- 道幅が狭く、五差路など複雑で危険な道路が多いので整備してほしい。
- 自転車専用レーンの設定が少ない。自転車の運転マナーに不安を感じる。

〔仕事について〕

- 外国人向けの求人情報がほしい。外国人の生活をサポートする仕事がしたい。
- 外国人としてボランティア活動する場がほしい。

〔その他〕

- アンケートを実施したことに対する感謝。今後も継続してほしい。

第3章 調査結果のまとめ

市内在住の外国籍市民を対象とした本アンケート調査結果や、市内在住の日本人市民を対象とした「西東京市市政モニター令和3年度第3回調査（一部、市外在住で市内在勤・在学の方を含む）」、「西東京市多文化共生推進指針策定に向けた日本人アンケート（令和7年度実施）」および「多文化共生推進指針策定に関するヒアリング調査（令和6年度実施）」の調査結果からみえた課題を以下に整理します。

1. コミュニケーション・日本語習得状況について

（1）情報の多言語化、相談状況

- ・本アンケート調査結果によると、西東京市で生活していく上で必要な情報として、「税金・年金の情報」、「病院・健康保険の情報」といった、制度や専門用語が多い分野のニーズが多くなっています。また、市のサービスやお知らせで伝えてほしい言語は「日本語」が最も多いものの、「やさしい日本語」も一定数の割合があり、「英語」もニーズがあります。また、外国人が住みやすいまちになるために市に求めることとして「多言語（英語・中国語・韓国語など）の情報提供をたくさんできるようにする」が3割を超えています。ヒアリング調査結果でも、日常生活に関わる物事の多言語化が不足しており、行政・生活情報を多言語化してほしいと声がありました。
- ・本アンケート調査と日本人市民向けのアンケート調査で、日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために市に求めることを聞いたところ、どちらも「日本の文化や暮らすために必要な情報を多言語（英語・中国語・韓国語など）で伝える」が最も多くなっています。
- ・ヒアリング調査結果では、行政サービスや補助金、高校受験の制度等について十分理解されておらず、支援を受けられない外国人がいるという実態が分かりました。外国人が必要とする制度等について、情報発信及び情報共有の強化が求められています。また、日本の文化やルールが分からず学校や生活に馴染めない外国人もいるという声がありました。日本の文化に係る周知啓発が求められていることがわかります。
- ・外国人市民の相談状況をみると、困っているときの相談相手は「日本にいる家族」、「日本にいる同じ国の友人・知人」、「日本人の友人・知人」など周囲の人に相談している割合が多い一方で、公共の相談窓口である「市役所や西東京市多文化共生センター（イングビル1階）などの相談窓口」は1割未満にとどまっており、「相談する人がいない」と回答した人もわずかにいました。また、外国人が住みやすいまちになるために市に求めることとして「外国人が相談しやすくなる」が55.2%と最も多くなっており、相談体制の充実が望まれています。
- ・本アンケート調査結果では、市が行っているサービスの認知状況や利用状況は「西東京市多文化共生センター（イングビル1階）」、「多言語での情報提供（くらしの情報など）」が多いものの、いずれも「無回答」が多く、各種サービスを知らない、または利用していない人が一定数存在しており、市の主要サービスが対象である外国人市民に十分届いていない可能性がうかがえます。また、日本人市民向けアンケート調査結果では、「多文化共生センター」に期待する役割として、「外国人のための相談機能の充実」が73.8%と最も多く、次いで「市内に住む外国人に向けての情報発信の充実」が66.3%となっており、相談機能や情報発信の充実を強く求めていることがわかります。

(2) 日本語習得状況

- ・本アンケート調査結果では、日本語を「できる」と回答した人が多いものの、年齢や国籍によって習熟度には差がみられました。
- ・日本語の勉強方法は「自分で」や「大学や日本語学校など」が多く、年齢が若いほど日本語を勉強している人が多い状況です。一方で、「勉強していない」と回答した人が一定数います。その理由としては、「日本語ができる」が最も多いものの、「仕事をしていて時間が無い」、「お金がない」、「勉強する気持ちにならない」といった回答が主となっています。
- ・日本語を勉強したい場所として、「無料で勉強できる・あまりお金がかからない」、「休みの日に勉強できる」、「自分の家や職場（仕事をしているところ）に近い」などが多く、経済的負担の少なさ、時間の柔軟性、アクセスの良さを重視していることが分かります。
- ・ヒアリング調査結果では、高校生や大学生からの意見として、日本語が分からず学校の授業やテストを理解できなかったという声がありました。

2. 生活状況について

(1) 災害時の支援について

- ・本アンケート調査結果によると、災害時の心配事として「家族や友人と連絡できない」、「どこに逃げたら安全かがわからない」、「必要な情報がわからない」が4割台と多くなっています。
- ・災害時の情報入手手段は「テレビ・ラジオ」が最も多く、「西東京市役所のホームページ」も多くなっています。また、西東京市で生活する中で必要な情報として、「防災（地震などの災害が来た時のための準備）の情報」を回答した割合は4割を超えており、上位に位置しています。
- ・日本人市民向けアンケート調査結果では、災害時の外国人に対しての有効な支援方法として「災害情報等を多言語で正しく知らせる」が半数以上となっています。

(2) 子ども・子育ておよび福祉サービスについて

- ・本アンケート調査結果によると、外国人の子どもが住みやすいまちにするために市に求めることとして、「外国人の子どもが日本語を勉強する場所を良くする」、「外国人の子どもたちが交流する場所を良くする」が3割を超えて多くなっています。
- ・西東京市で生活していく上で必要な情報として、「高齢者や障害者を助ける情報」、「学校や子どもを育てるための情報」が2割台半ばとなっており、外国人家庭において福祉サービスや就学に関する情報を求める人が一定数いることがうかがえます。
- ・ヒアリング調査結果によると、外国人に日本語を教える立場の日本人でも、外国人を支援するサービスを知らないと回答する人が多く、広く周知してほしいと声があげられました。

3. 感染症流行時について

(1) 感染症流行時の状況について

- ・本アンケート調査結果によると、新型コロナウイルスの流行時に「困ったことがあった」は13.9%となっています。割合としては少数であるものの、具体的には買い物、仕事、家族の介護や病院での手続きに困りごとを抱えています。

4. 多文化共生への意識と外国人の社会参画について

(1) 多文化共生の意識について

- ・日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために市に求めることとして、「日本人と外国人が参加するイベントをする」が日本人で3割台、外国人で4割台となっており、双方が参加するイベントへの参加意向が高くなっています。また、日本人向けアンケート調査では、多文化共生に関する活動やイベントについて、「外国人とコミュニケーションをとることができるイベント」、「いろいろな国の文化を体験できるイベント」への参加意向が高くなっています。
- ・日本人市民向けアンケート調査結果では、約7割が外国人と交流することに興味があると回答しています。また、市内に外国人が増加することで期待できることとして「外国の様々な文化にふれる機会が増えること」、「外国人の友人・知人が増え、コミュニティの拡大に繋がること」が多くなっています。一方で、気になることとして「文化の違い（言語・習慣等）によるトラブルが増える」が多くなっています。
- ・本アンケート調査結果によると、日本人との交流状況は「あいさつをする」、「会って話す」が多くなっています。また、交流する際に難しいと感じることは「言葉がうまく通じない」、「交流するきっかけがない」が多くなっています。
- ・日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、外国人ができることとして「暮らすために必要な決まりを守る」、日本人ができることとして「外国の文化や習慣を理解しようとする気持ちをもつ」が、それぞれ最も多くなっています。

(2) 外国人市民の地域参加について

- ・本アンケート調査結果によると、参加している活動（続けて参加するもの）は「趣味の活動（スポーツや音楽など）」が多いものの、「参加している活動はない」が4割台半ばとなっています。加えて、参加しているイベント（決まった日だけ参加するもの）は、「日本の季節のイベント（お正月、お花見、夏祭りなど）」と「参加しているイベントはない」が2割台半ばとなっています。また、活動やイベントに参加していない割合は20代で比較的多くなっています。
- ・活動やイベントに参加していない理由として、「参加する方法がわからない」、「時間がない」が多く、情報不足や参加しやすい環境の欠如が背景にあると考えられます。
- ・ヒアリング調査結果によると、外国人の子どもにとって、来日して間もない頃は同世代・同級生の友達と話す機会が少なく、友達づくりに壁を感じたという声がありました。

第4章 調査票

西東京市に住む外国人の皆さんへのアンケート

このアンケートは、西東京市に住む18歳以上の外国人からくじ引きで決めた1,000人に送っています。
西東京市では、日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、外国人の皆さんが思っていることや市役所にしてほしいことを調べます。皆さんがいつも感じていることなどを教えてください。

名前を書かないので、答えたことは秘密にできます。わからないことがあったら、【問い合わせ先】に電話してください。

【回答の期間】7月10日(木曜日)まで

【問い合わせ先】西東京市 生活文化スポーツ部 文化振興課／電話 042-420-2817

インターネットで答える方法★やさしい日本語・英語・中国語・韓国語で質問を見て答えることができます

二次元コードからも答えることができます。IDを入れてください。

URL: <https://logoform.jp/f/0nYKN>

ID: ●●●●●●●● ※他の言葉で答えたいときは、【問い合わせ先】に電話してください。



郵送で答える方法 ★やさしい日本語で質問を見て答えることができます

調査票に答えを書きます。一緒に入っていた返信用封筒に入れて、郵便ポストから送ってください。

※切手はいりません。差出人(自分の名前)は書きません。

Questionnaire for Foreigners Living in Nishitokyo City

We are sending this questionnaire to 1,000 foreigners living in Nishitokyo City and aged 18 years or over who have been chosen by lottery. The aim of the questionnaire is to investigate what foreigners in Nishitokyo are thinking and what they want the City Office to do to make the city a comfortable place where Japanese and foreigners can cooperate and live together. Please let us know your everyday feelings and so on.

Since you do not need to write your name on the questionnaire, your replies will remain confidential. If you have any inquiries, please telephone the contact number given below.

【Deadline for replies】Thursday, July 10

【Inquiries】Cultural Promotion Section, Living, Cultural and Sports Division, Nishitokyo City; tel. 042-420-2817

Replying online

★You can read the questions and reply in easy Japanese, English, Chinese, or Korean.

You can also reply from the QR code. Please enter the ID.

URL: <https://logoform.jp/f/x4xpG>

ID: ●●●●●●●●

*If you wish to reply in another language, please telephone the contact number above.



Replying by post

★You can read the questions and reply in easy Japanese.

Write your replies on the questionnaire form, put it in the return envelope included, and post it.

*No stamp is required. Do not write the sender's (your) name.

面向居住在西東京市的外国人的问卷调查

本问卷调查通过抽签决定发送给 1000 名居住在西東京市 18 岁以上的外国人。
为了让日本人和外国人通力合作共筑和谐居住环境，西東京市将调查外国人的想法以及对市政府的诉求。请告知我们您的日常感受。
无记名填写，问卷内容可以保密。如有不明之处，请给【咨询处】打电话咨询。

【答卷时间】7月10日(星期四)截止

【咨询处】西東京市 生活文化体育部文化振兴课 / 电话 042-420-2817

线上答卷方法

★可以用简单日语・英语・汉语・韩语查看并回答问题

也可以扫码答卷。请输入 ID。

URL: <https://logoform.jp/f/17ULs>

ID: ●●●●●●●●

※如需用其他语言答卷时，请给【咨询处】打电话咨询。



邮寄答卷方法

★可以用简单日语查看并回答问题

填写问卷调查表。完成后请装入回信用信封里，放入邮筒寄出。 ※不需要贴邮票。不写寄信人(自己的姓名)。

니시도쿄시에 사는 외국인 여러분께 드리는 앙케이트

이 앙케이트는 니시도쿄시에 사는 18세 이상의 외국인을 추첨하여 정한 1000명에게 보내고 있습니다.
니시도쿄시에서는 일본인과 외국인이 협력하여 살기 편한 마을을 위해 외국인 여러분이 생각하고 있는 점이나 시정에 바라는 점을 조사하고 있습니다. 여러분이 항상 느끼고 있는 점을 알려 주시기 바랍니다.
이름은 쓰지 않으므로 답변은 비밀이 지켜집니다. 모르는 점이 있으시다면 【문의처】로 전화해 주십시오.

【회답기간】7월 10 일 (목요일)까지

【문의처】니시도쿄시 생활문화스포츠부 문화진흥과/전화 042-420-2817

인터넷으로 답하는 방법

★쉬운 일본어・영어・중국어・한국어로 질문을 보고 답하는 것도 가능합니다.

이차원 코드로 답하는 것도 가능합니다. ID 를 입력해 주세요.

URL: <https://logoform.jp/f/2Kw9w>

ID: ●●●●●●●●

※다른 언어로 답하고 싶은 경우에는 【문의처】로 전화해 주세요.



우송으로 답하는 방법

★쉬운 일본어로 질문을 보고 답하는 것도 가능합니다.

조사표에 답변을 씁니다. 함께 들어 있는 답신용봉투에 넣어 우체통에서 보내 주십시오.

※우표는 필요없습니다. 보낸 사람(자신의 이름)은 쓰지 않습니다.

1. あなた(回答者)について

問1 性別は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

1 男性	2 女性	3 その他	4 答えない
------	------	-------	--------

問2 何歳ですか。(1つだけ○をつけてください)

1 18～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	

問3 国籍は何ですか。在留カードと同じ国を書いてください。(1つだけ○をつけてください)

1 中国	4 ネパール	7 ミャンマー	10 スリランカ
2 韓国	5 フィリピン	8 米国(アメリカ)	11 その他
3 ベトナム	6 台湾	9 インドネシア	()

問4 1日の中で1番使っている言語は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

1 日本語	3 中国語	5 その他
2 英語	4 韓国語	()

問5 どこに住んでいますか。(1つだけ○をつけてください)

1 田無町	7 向台町	13 富士町	19 ひばりが丘北
2 南町	8 芝久保町	14 中町	20 栄町
3 西原町	9 新町	15 東町	21 北町
4 緑町	10 柳沢	16 泉町	22 下保谷
5 谷戸町	11 東伏見	17 住吉町	
6 北原町	12 保谷町	18 ひばりが丘	

問6 在留資格は何ですか。(1つだけ○をつけてください)

1 教授	7 企業内転勤	13 永住者
2 宗教	8 技能	14 日本人の配偶者等
3 高度専門職	9 技能実習	15 永住者の配偶者等
4 経営・管理	10 留学	16 定住者
5 教育	11 家族滞在	17 その他
6 技術・人文知識・国際業務	12 特定活動	()

問7 働いていますか。(1つだけ○をつけてください)

- 1 働いている
2 働いていない

問8 日本にどのくらい住んでいますか。今まで日本に住んでいた期間を全部合わせてください。(1つだけ○をつけてください)

- 1 ~6 か月 3 1年~3年 5 5年~10年 7 30年~
2 6か月~1年 4 3年~5年 6 10年~30年

問9 西東京市にどのくらい住んでいますか。今まで西東京市に住んでいた期間を全部合わせてください。(1つだけ○をつけてください)

- 1 ~6 か月 3 1年~3年 5 5年~10年 7 30年~
2 6か月~1年 4 3年~5年 6 10年~30年

問10 今、誰と一緒に住んでいますか。(住んでいる人みんなに○をつけてください)

- 1 1人で住んでいる 7 5、6以外の家族(日本人)
2 夫・妻・パートナー(日本人) 8 5、6以外の家族(外国人)
3 夫・妻・パートナー(外国人) 9 友人・知人(日本人)
4 子ども 10 友人・知人(外国人)
5 自分の親・夫や妻の親(日本人) 11 その他
6 自分の親・夫や妻の親(外国人) ()

問11 西東京市の生活について、良いと思うことは何ですか。(良いと思うもの全部に○をつけてください)

- 1 公共交通機関(電車やバスなど)が使いやすい 8 外国人に優しい
2 買い物しやすい 9 住むところを借りやすい
3 行きやすい飲食店が多い 10 友人・知人が多い
4 家賃が安い 11 日本語ができなくても暮らせる
5 生活に必要なものや食べ物安い 12 その他
6 近くに自然(木や花など)がある 13 良いと思うことは特にない
7 まちがきれい

問12 これからも西東京市に住み続けたいですか。(1つだけ○をつけてください)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問13 日本での生活が良いと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

1 良い	3 普通	5 悪い
2 少し良い	4 少し悪い	6 わからない

2. 多文化共生について

問14 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、あなたができることは何ですか。(できると思うこと全部に○をつけてください)

1 日本人にあいさつをする
2 住んでいるところの活動やイベントにたくさん参加する
3 日本語や日本の文化を勉強する
4 暮らすために必要な決まりを守る
5 その他()

問15 日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。(3つまで○をつけてください)

1 日本の文化や暮らすために必要な情報を多言語(英語・中国語・韓国語など)で伝える
2 日本人と外国人が参加するイベントをする
3 外国人の子どもを助ける
4 外国の文化を紹介する
5 外国人を助けるボランティアを育てる・支える
6 外国人のことを知るためのイベントをする(日本人向け)
7 日本人のことを知るためのイベントをする(外国人向け)
8 外国人が地域の活動や集まりに参加できるようにする
9 その他()

問16 あなたが参加している活動やイベントはどれですか。(参加している活動全部に○をつけてください)

【活動(続けて参加するもの)】

- 1 町内会・自治会
- 2 趣味の活動(スポーツや音楽など)
- 3 高齢者の活動(老人クラブなど)
- 4 民族団体・同じ国の人の団体
- 5 自分の文化や言葉を日本人に伝える(教える)活動
- 6 ボランティア活動
- 7 その他()

8 参加している活動はない(⇒ 問17へ)

【イベント(決まった日だけ参加するもの)】

- 1 外国の文化を紹介する
- 2 日本の季節のイベント(お正月、お花見、夏祭りなど)
- 3 外国の季節のイベント(旧正月、イースター、ハロウィーン、クリスマスなど)
- 4 スポーツ(運動)のイベント
- 5 音楽や美術(絵など)のイベント
- 6 防災訓練(地震などが起こったときの練習)
- 7 その他()

8 参加しているイベントはない(⇒ 問17へ)

問17 【問16で「8 参加している活動はない」「8 参加しているイベントはない」と回答した方にお聞きします。】問16の活動やイベントについて、なぜ参加しないのですか。(参加しない理由全部に○をつけてください)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 参加する方法がわからない | 5 お金がない |
| 2 場所を知らない | 6 その他() |
| 3 時間がない | 7 参加したい活動やイベントはない |
| 4 日付や時間が合わない | |

問18 西東京市役所がしているサービスを知っていますか。(知っているサービス全部に○をしてください)

- 1 西東京市多文化共生センター(イングリッシュ1階)
- 2 多文化キッズサロン(子ども日本語教室)
- 3 多言語での情報提供(くらしの情報など)
- 4 多言語通訳サービス(タブレット端末を使ったテレビ電話)
- 5 外国語通訳ボランティアサービス

問19 西東京市役所がしているサービスを使ったことがありますか。(使ったことがあるサービス全部に○をしてください)

- 1 西東京市多文化共生センター(イングリッシュ1階)
- 2 多文化キッズサロン(子ども日本語教室)
- 3 多言語での情報提供(くらしの情報など)
- 4 多言語通訳サービス(タブレット端末を使ったテレビ電話)
- 5 外国語通訳ボランティアサービス

問20 外国人が住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。(3つまで○をつけてください)

- 1 外国人が相談しやすくする
- 2 通訳・翻訳などのボランティアの紹介をたくさんできるようにする
- 3 多言語(英語・中国語・韓国語など)の情報提供をたくさんできるようにする
- 4 日本語を学ぶところをたくさん紹介できるようにする
- 5 その他()

問21 外国人の子どもが住みやすいまちにするために、西東京市役所に何をしてほしいですか。(3つまで○をつけてください)

- 1 外国人の子どもが日本語を勉強する場所を良くする
- 2 外国人の子どもたちが交流する場所を良くする
- 3 外国人の子どもが日本の文化を勉強する場所を良くする
- 4 学校などが外国人の子どものサービスを理解する
- 5 外国人の子どもを助けるサービスを多くの人に伝える
- 6 日本で暮らすために必要な情報を多言語(英語・中国語・韓国語など)で伝える
- 7 その他()

3. 日本語の勉強について

問22 あなたは、日本語がどのくらいできますか。あなたが思ったとおりにそれぞれ答えてください。(1～5
の中で1つに○をつけてください)

	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> できない できる </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around; width: 100%;"> 1 2 3 4 5 </div>				
① 話す・聞く力はどのくらいですか	1	2	3	4	5
② 書く・読む力はどのくらいですか	1	2	3	4	5
③ ①②を合わせた 全体的な日本語の力はどのくらいですか	1	2	3	4	5

問23 あなたは、どのように日本語を勉強していますか。(「9」以外は問25へ)(あなたが日本語を勉強している方法全部に○をつけてください)

1 自分で	6 日本人の友人から
2 日本語ボランティア教室	7 日本人以外の友人から
3 大学や日本語学校など	8 その他()
4 通信教育(オンラインや郵便で勉強する)	9 勉強していない(⇒ 問24へ)
5 テレビ・ラジオの講座	

問24 【問23で「9 勉強していない」と回答した方にお聞きします。】なぜ日本語を勉強していないのですか。(勉強していない理由全部に○をつけてください)

1 日本語ができる	7 日本語教室の時間が合わない
2 日本語以外の言葉で生活ができる	8 日本語教室が遠い
3 病気の人や小さい子どもがいるため 時間がない	9 日本語教室の教え方や内容、レベル が合わない
4 仕事をしていて時間がない	10 勉強する気持ちにならない
5 お金がない	11 その他()
6 日本語教室を知らない	

問25 どんな場所で日本語を勉強したいですか。(3つまで○をつけてください)

1 夜に勉強できる	8 日本語を母国語としている先生がいる
2 休みの日に勉強できる	9 無料で勉強できる・あまりお金がかからない
3 子どもを預けるサービスがある	10 自分の母国語で教えてくれる
4 1人の先生が1人に教えてくれる	11 オンラインで参加できる
5 少ない人数で教えてくれる	12 指導資格を持っている先生がいる
6 1週間に何回も勉強できる	13 その他()
7 自分の家や職場(仕事をしているところ)に近い	

問26 日本語を勉強する場所でどんなことをやりたいですか。(日本語を勉強すること以外で、やりたいと思うこと全部に○をつけてください)

1 日本人との交流(会う、話すなど)	6 住んでいるところの情報を教えてくれる
2 外国人との交流(会う、話すなど)	7 災害(地震など)のときに助けてくれる
3 日本人の集まり・団体などの紹介	8 日本の文化を知る
4 日本人以外の集まり・団体などの紹介	9 日本語を勉強すること以外は しなくていい
5 生活の問題や困ったことの相談	

4. 情報の入手方法について

問27 あなたが西東京市で生活していく中で、どんな情報が必要ですか。(必要だと思うもの全部に○をつけてください)

1 税金・年金の情報	6 住まい(家など)の情報
2 学校や子どもを育てるための情報	7 防災(地震などの災害が来た時のための準備)の情報
3 病院・健康保険の情報	8 祭り・イベントの情報
4 高齢者(65歳以上の人)や障害者(心や体が不自由な人など)を助ける情報	9 市役所などの手続き
5 生活するために必要な情報(ごみの出し方など)	10 その他()
	11 必要だと思う情報は特にな

問28 あなたは、西東京市役所のサービスや手続きなどの情報を何で知りますか。(よく使うものを選んで3つまで○をつけてください)

1 市報(広報西東京)	6 西東京市多文化キッズサロン(子ども日本語教室)
2 ぐらしの情報(市報の一部をやさしい日本語・英語・中国語・韓国語にしたもの)	7 NPO法人西東京市多文化共生センター(NIMIC)のホームページ
3 西東京市役所のホームページ	8 日本人の友人・知人
4 西東京市役所の SNS	9 日本人以外の友人・知人
5 西東京市多文化共生センター(イングビル1階)	10 会社の人
	11 その他()

問29 日本語を外国人などに伝わりやすいようにしたものが「やさしい日本語」です。「やさしい日本語」を知っていますか。(1つだけ○をつけてください)

1 知っている
2 聞いたことはあるが、よく知らない
3 知らない

問30 あなたは、西東京市役所のサービスやお知らせをどの言葉で伝えてほしいですか。(1つだけ○をつけてください)

1 日本語	3 英語
2 やさしい日本語	4 その他()

問31 あなたは困っているときに誰に相談しますか。(よく相談する人を選んで3つまで○をつけてください)

1 日本にいる家族	8 外国人の集まり・団体
2 日本以外にいる家族	9 教会・寺
3 日本にいる同じ国の友人・知人	10 市役所 や 西東京市多文化共生センター(イングビル1階)などの相談窓口
4 日本以外にいる同じ国の友人・知人	11 日本語教室の人
5 日本人の友人・知人	12 その他()
6 学校の先生	13 相談する人がいない
7 会社の人	

問32 地震などの災害が起きたとき、何が心配ですか。(心配なこと全部に○をつけてください)

- 1 必要な情報がわからない
- 2 避難所(地震や大雨で家に居られないときに行くところ)で文化が違うときにわかってもらえない
- 3 どこに逃げたら安全かがわからない
- 4 家族や友人と連絡できない
- 5 その他()
- 6 わからない

問33 地震など災害が起きたとき、あなたはどこから情報を集めますか。(情報を集めるところ全部に○をつけてください)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1 西東京市役所のホームページ | 6 会社などの SNS |
| 2 国・東京都・自治体(西東京市以外の市区町村)のホームページ | 7 テレビ・ラジオ |
| 3 会社などのホームページ | 8 日本人の友人・知人 |
| 4 西東京市役所の SNS | 9 日本人以外の友人・知人 |
| 5 国・東京都・自治体(西東京市以外の市区町村)の SNS | 10 その他() |

問34 たくさんの人が新型コロナウイルス(COVID-19)の病気になったとき、困ったことはありましたか。(「1」はそのとき、どういうことに困ったのかも書いてください)

- 1 困ったことがあった(例: ワクチン接種の予約ができない、病院で言葉が通じないなど)
(困ったこと:)
- 2 困ったことはなかった

5. 地域の交流について

問35 あなたは日本人とどんな交流(会う、話すなど)をしていますか。(日本人としていること全部に○をつけてください)

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1 あいさつをする | 4 困ったときに相談する |
| 2 会って話す | 5 インターネットや SNS だけで交流(話す、メールするなど)する |
| 3 遊ぶ・買い物に行く人がいる | 6 交流していない |

問36 あなたは日本人と交流(会う、話すなど)することについて、難しいことはありますか。(3つまで○をつけてください)

1 言葉がうまく通じない	4 日本人と話すことが少ない
2 交流するきっかけがない	5 その他()
3 日本人との関わり方がわからない	6 難しいことはない

問37 あなたは、いつも誰と交流(会う、話すなど)していますか。(1番交流している人を1つだけ○をつけてください)

1 日本人	4 その他()
2 外国人(自分と同じ国の人)	5 交流していない
3 外国人(自分と違う国の人)	

問38 あなたは生活している中で、「外国人だから」という理由で嫌な思いをすることがありますか。(1つだけ○をつけてください)

1 よくある	4 ない
2 少しある	5 わからない
3 あまりない	

問39 【問38で「1 よくある」「2 少しある」「3 あまりない」と回答した方にお聞きします。】

外国人だからという理由で嫌な思いをしたのは、どんなことでしたか。(嫌な思いをしたこと全部に○をつけてください)

1 日本語がわからない	4 病院やお店などで説明が少ない
2 避けられた・無視された	5 部屋を借りることが難しい
3 就職・アルバイトの面接でいやな態度をされた	6 その他()

6. その他について

問40 ^{とい}西^{にし}東^{とう}京^{きやう}市^しや暮^くらしについて、も^かっ^たと書^かきたいことがあ^かればこ^かちらに書^かいてくだ^かさい。

— アンケートは^お終わ^{きやうりよく}りです。ご協^{きやうりよく}力^{りよく}、どうもあ^かりがとうござ^かいました。 —



ご^{きにやう}記^き入^いいただきました^い調査^{ちやうさひやう}票^{ひやう}は、同^{どう}封^{ふう}の返^{へん}信^{しん}用^{よう}封^{ふう}筒^{とう}に入^いれて、

7月^{がつ}10日^{にち}(木^{もく}曜^{よう}日^び)ま^まで^でに^{ゆうびん}郵^{ゆう}便^{びん}ポ^いス^すトに入^いれてくだ^かさい。

※切手は貼らないでください

第5章 多文化共生推進指針に関する ヒアリング調査報告書

西東京市多文化共生推進指針の策定に向けて、ヒアリング調査を行いました。調査概要とヒアリング結果の一覧を以下にまとめます。

1. 調査の概要

■調査対象（合計30人）

調査対象	人数
A 子ども日本語教室の生徒（中学部）	3人
B 子ども日本語教室の修了生（高校生）	3人
C 子ども日本語教室の修了生（大学生）	3人
D 子ども日本語教室のスタッフ	小学部3人 中学部4人
E 日本語適応指導員	小学生の指導員4人 中学生の指導員3人
F 市内小学校及び中学校の各副校長 ※小学校4校（東伏見小学校、中原小学校、田無小学校、向台小学校） ※中学校3校（ひばりが丘中学校、田無第三中学校、保谷中学校）	7人

■実施方法

対象者に予め質問項目を送り、対象者ごとに対面でヒアリングを実施

■実施期間

令和6年8月19日（月）～10月25日（金）

■調査項目

- ① 日本語教育の推進について
- ② 子育て・行政サービスの提供について
- ③ 行政・生活情報の多言語化について

2. ヒアリング結果一覧

① 日本語教育の推進について

学習について

- ・日本人と会話ができる機会があると良いと思う。(A)
- ・買い物等の日常生活で苦労した。(A)
- ・自宅から子ども日本語教室まで距離があり、通い続けることが大変。(A)
- ・塾との掛け持ち、学校の授業の後だと疲れる。(B)
- ・日本語が理解できず、学校の授業やテストを理解できなかった。(B・C)
- ・学校で日本語を教えてくれる人がいると良いと思う。(C)
- ・個別に相談があれば対応する。(F)

交流について

- ・同年代の友達と話す機会が欲しい。(A)
- ・子どもだけで集まることができるコミュニティがあると良いと思う。(A)
- ・来日して間もない頃は、日本語を話すことができないため、友達ができなかった。(B)
- ・学校の同級生と話すことに壁を感じていた。きっかけがあると良いと思う。(C)
- ・心理的なサポートが欲しい。悩んでいることを聞いて欲しい。(C)
- ・日本語教室は子どもたちが母国語で心を開いて話すことができる居場所となっており、自宅から遠くても日本語教室に通うモチベーションになっている。(D)
- ・児童館での活動を楽しみにしている児童・生徒もいるが、高校を卒業して児童館の利用ができなくなるため、高校を卒業しても活動できる場所があると良いと思う。(E)

文化理解について

- ・校則等、日本人が当たり前に分かっていることが分からない。(C)
- ・日本人と外国人がお互いに文化の違いを理解できるようになると良いと思う。(C)
- ・子ども同士のトラブルが起こった時の対応など、外国人の保護者に日本の見えないルールを教える場が必要だと思う。(D)
- ・子どもによっては、受験すれば必ず高校に入学できると思っていて、日本の受験制度を理解してもらうのに苦労している。(D)
- ・信仰している宗教によって、学校のイベントに参加できないことがある。(E)
- ・体育の授業の際、着替えさせてもらうのを待っている児童・生徒がいた。(E)
- ・学校にお弁当を持参することを知らず、持参できない家庭があった。(E)
- ・外国人の子どもを学校で受け入れる際は、宗教上で配慮が必要なこと（食事、お祈りの時間、服装など）について事前に確認している。(F)

情報発信及び情報共有について

- ・私立高校の授業料の無償化や補助金等の支援制度が外国人にもわかりやすく伝わるようになると良いと思う。(D)
- ・外国人に係る制度等について、子ども日本語教室のスタッフの中でも知識に差があるため、全体に共有できたら良いと思う。(D)
- ・令和6年度から高校受験の申込手続きのオンライン化が進み、手続きのサポートが必要となっている。サポートにはWi-Fi環境が必要。(D)
- ・児童・生徒の状況について、細かな状況を共有し、適切な指導ができるように連携が必要だと思う。(E)
- ・保護者が学童の制度を知らなかったため、利用申請を行うことができず、小学校低学年の子どもが放課後に一人で過ごすこともあった。(E)
- ・外国人自身の在留資格で何ができるのかを知らず、支援者も在留資格についての知識が浅いこともある。(E)

② 子育て・行政サービスの提供について

サービスの利用促進について

- ・日本語教室の中でもデイジー教科書を活用できるようWi-fi環境が整備されると良いと思う。(D)
- ・デイジー教科書について、積極的には活用していない。(F)
- ・外国語通訳ボランティア事業を知らない。(F)
- ・多文化キッズサロンについて、人事異動があるため年度初めに再周知をしてもらえると良いと思う。(F)
- ・多文化共生センターについては、外国人の対応で困った際に調べて発見するため、知らない先生も多い。校長・副校長会議等で周知すると良いと思う。(F)

③ 行政・生活情報の多言語化について

やさしい日本語の活用を含む多言語化について

- ・ふりがながもっと増えると良いと思う。(B)
- ・まちなかで英語以外の言語表記が増えると良いと思う。(B)
- ・季節の挨拶文等のかしこまった日本語は、日本人にも伝わりづらいこともあると思う。(F)
- ・やさしい日本語について、学校の面談では意識して使っている。(F)

西東京市に住む外国人へのアンケート調査報告書

令和●年●月

編集・発行：西東京市 生活文化スポーツ部 文化振興課

〒188-8666

西東京市南町5丁目6番13号 西東京市役所田無庁舎

TEL 042-420-2817